

岐阜県博物館報

第41号

2018
岐阜県博物館

はじめに

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和 51 年 5 月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心にした調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、県民の皆様に広く学びの場を提供してまいりました。この間、岐阜県の学術文化及び博物館教育の拠点として、大変多くの方々にご利用いただきましたことを心から感謝申し上げます。

平成 29 年度は、各々 2 回の特別展と企画展、県図書館との連携企画展や高山市での移動展、6 回のマイミュージアムギャラリー展などを開催しました。

特別展「生きている大地～地質図が語るぎふの大地～」(7月7日～9月3日)では、最新の地質図をはじめ県内各地域・各地質年代を代表する岩石・鉱物・化石の系統的な展示を通して、本県の大地が地質学的に多様性に富み国内有数の魅力的な特徴を有することを再認識するとともに、産業利用や防災対策を紹介する展示を通して、我々の生活がいかに足下の大地と密接に関係しているかを考える機会となりました。

特別展「壬申の乱の時代―美濃国・飛騨国の誕生に迫る」(9月15日～11月19日)では、美濃の地と人々が行方大きな役割を果たした古代史上最大の内乱・壬申の乱(672年)を紹介するとともに、県内を代表する古墳時代～奈良時代の遺跡を中心とする多数の出土品に加え、平成 29 年 9 月 15 日付けで国宝に指定された「平城宮跡出土木簡」のうち美濃国武義郡と関係が深いとされる「牟儀」氏出身の人名が書かれた木簡も特別に展示して、「美濃国」「飛騨国」誕生の古代ロマンに思いをはせる機会となりました。

また、企画展「関ヶ原～天下分け目の合戦と美濃～」(4月22日～6月25日)では、合戦に至る過程や推移について県内外に伝わる一流の資料をもとに合戦と美濃との関わりを紹介し、企画展「命輝く清流長良川～清流とともに移りゆく植物～」(11月25日～30年2月25日)では、長良川の各流域に特徴的な植物の標本、レプリカ、スケッチ、写真をもとに標高差の大きい本県ならではの豊富な植物の生き様を紹介しました。

さらに、連携企画展として岐阜県図書館にて「東西激突! The 関ヶ原～関ヶ原合戦と岐阜城合戦～」(7月21日～9月18日)を、移動展として飛騨高山まちの博物館にて「見つめる目 写真家の見た飛騨美濃～細江光洋の飛騨・増山たづ子の徳山・後藤英夫の円空～」(7月21日～9月18日)を開催しました。

そのほか、特別展・企画展に関連する講演会を 4 回、各分野における著名な研究者による講演会を 5 回、学芸講座を 9 回、三重県総合博物館(MieMu)との交流企画講演会を 2 回開催しました。これらの講演会を通して、当館の学芸員の調査・研究や最先端の研究を県民の皆様に伝える場を提供することができました。

平成 30 年度は、特別企画展「兼定 刀都・関の名工」では、中世に遡り刃物産地として知られる関の刀鍛冶の中でも名工とされる兼定銘の刀剣を一堂に展示し、関鍛冶伝承館にて関市が同時開催する特別企画展「美濃の名工・兼元」と連携を図りながら、改めて刀都・関が誇る文化、歴史、匠の技を県内外に発信します。また、特別展「理科室からふるさとの自然を見つめて～知れば知るほど面白い標本の世界～」では、当館が所蔵する多数の動物標本を展示し、標本の面白さや本県の多様な自然の素晴らしさを紹介するとともに、特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家―大御乳・池田恒興・輝政の戦い―」では、美濃に関わりの深い大名池田氏を中心に各地に所在する文化をもとに織豊・徳川政権の形成に美濃が果たした役割を探ります。

このほか、博物館・図書館連携企画展「歌川国芳 木曾街道六十九次」及び「芝居大国!岐阜」、移動展「恐竜の世界～小田隆が描く古生物の世界～」、明治 150 年記念のミニ展も計画しています。また、三重県総合博物館(MieMu)との交流企画講演会を含む全 21 回の講演会や各種のワークショップを開催するなど、広く県民の皆様に親しみ、学んでいただける催事を多数計画しております。加えて、調査研究活動、資料収集保管活動、サポーター協働事業、外部機関との連携イベント、収蔵品や資料の館外展示による観覧機会の提供など、より一層の魅力発信に努めてまいります。

ここに、平成 29 年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報 第 41 号」を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご高覧いただき、当館の更なる発展のためにご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 4 月 1 日

岐阜県博物館長 平井克昭

目 次

はじめに

I 博物館概要

1 設置目的	1
2 基本的性格	
3 基本方針	
4 沿革	2
5 歴代館長名簿	3
6 施設・設備	4

II 平成30年度の組織・体制

1 職員	6
2 展示活動	7

III 平成29年度のあゆみ

1 職員	9
2 岐阜県博物館協議会	10
3 日誌抄	10
4 実施事業の概要	11
5 展示活動	11
6 調査研究活動	20
7 資料収集活動	25
8 教育普及活動	26
9 利用状況	36
10 博物館関係団体	37

IV 利用案内（平成30年度）.....	38
----------------------	----

I 博物館概要

1 設置目的

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

2 基本的性格

- ・岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学、古生物）等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発できるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

3 基本方針

(1) 資料収集活動

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、人文・自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。

総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。

課題展示は、コーナー毎にテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。

企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数本を行う特別展・資料紹介展などがある。

展示は以下の点に留意する。

- ・生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる展示
 - ・資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示
 - ・各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
 - ・できる限り実物資料の展示とするが、図表や模型等の資料も活用した展示
 - ・できる限り資料に直接触れることのできる展示
 - ・視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
 - ・解説が明確で分かりやすい展示
- 各展示室の主題と内容は、次のとおりである。
- ・人文展示室（人文総合展示）
主題「郷土のあゆみ」…先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。
 - ・自然展示室1（自然総合展示）
主題「郷土の自然とおいたち」…郷土の自然の概要を系統的に展示する。
 - ・自然展示室2（自然課題展示）
主題「郷土のさまざまな自然」…特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。
 - ・特別展示室、企画展示室
一定期間に、特定のテーマを設定して、資料紹介するなど、年に数本の特別展・企画展を行う。特別展期間中の企画展示室や企画展期間中の特別展示室では、人文課題展示を行う。

(3) 調査研究活動

- ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) 教育普及活動

- ・展示や博物館資料に関連した教育普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力に努める。
- ・サポーターとの協働活動を推進する。
- ・マイミュージアムギャラリーを運営し、個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示することにより、生涯学習の成果発表の場とするなど、県民文化の向上と交流を図る。

4 沿革

			入館者 100 万人を突破	9 月	29 日大型ほ乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘	
		12 月	自然展示室 2 を改装			
昭和 46 年	3 月	岐阜県百年記念事業推進委員会において、博物館の建設を決定	昭和 61 年 4 月	特別展「徳山の四季とくらし」	10 月	特別展「失われゆく植物」
	4 月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置		7 月	11 月	「ハイパーハイビジョン風土記」イメージシュミレーションソフトの完成
	6～9 月	博物館懇談会を設ける		9 月	平成 6 年 1 月	20 日マイ・ミュージアム棟起工式
昭和 47 年	4 月	博物館開設準備室を設置		10 月	3 月	大型ほ乳類足跡化石を展示
		展示委員会を設ける	昭和 62 年 4 月	開館 10 周年記念式典を挙	4 月	特別展「川に生きる～水運と漁労～」
昭和 48 年	8 月	起上式挙		開館 10 周年記念展「ふるさとの祭り」	8 月	恐竜の歯等荘川村で発見
昭和 49 年	3 月	展示実施計画樹立		特別展「飛驒の弥生時代」	9 月	特別展「美濃山地の自然」
	10 月	定礎式		7 月	10 月	入館者 160 万人を突破
昭和 50 年	3 月	展示工事着手		10 月	12 月	ユタ州訪問（花フェスタ'95 展示化石の借用、交流の推進）
	7 月	本館建築竣工	昭和 63 年 1 月	特別展「飛驒の匠」	平成 7 年 3 月	マイ・ミュージアム棟工事の完成
昭和 51 年	1 月	展示工事完了		旧徳山村民家移築復元		ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行美濃路編ソフト完成
	4 月	岐阜県博物館条例公布	4 月	自然展示室 1 を改装	4 月	特別展「岐阜の淡水魚」
		岐阜県博物館設置		特別展示室ショーケース改修	7 月	花フェスタ'95 にユタ州恐竜化石を展示
	5 月	展示資料等製作完了		特別展「ふるさとの湿原」		マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典挙
		開館記念式典挙		7 月	8 月	一般公開
		一般公開		10 月	11 月	恐竜ゼミナール GIFU'95 開催
		「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」		7 月	10 月	特別展「美濃・飛驒の古代史発掘～律令国家の時代～」
	7 月	皇太子・同妃殿下行啓		10 月	7 月	入定三百年記念「円空展」
	8 月	特別展「ふるさとの文楽」	平成元年 4 月	特別展「中生代の化石」		（名古屋市と共催）
		入館者 10 万人を突破		入館者 120 万人を突破	7 月	県下第 1 号として「マルチメディア工房さふ」開設
	10 月	入館料徴収開始		特別展「濃飛の古墳時代」		円空シンポジウム「世界における円空」
	11 月	特別展「熊谷守一展」		特別展「ふるさとの野鳥」	平成 8 年 4 月	高校生常設展入館料無料化
昭和 52 年	5 月	特別展「日本伝統工芸秀作展」		8 月	5 月	入館者 170 万人を突破
		入館者 20 万人を突破		10 月	7 月	開館 20 周年記念展「恐竜のふるさとユタ」
	7 月	特別展「郷土の化石展」		特別展「輪中と治水」	8 月	アメリカ合衆国ユタ州プリガムヤング大学付属地球科学博物館と友好提携調印式挙
	11 月	特別展「鉄斎」	平成 2 年 4 月	特別展「白山の自然」	10 月	飛驒美濃合併 120 周年記念展「岐阜県の明治維新」
昭和 53 年	4 月	入館者 30 万人を突破		7 月	11 月	飛驒美濃合併 120 周年記念「文化講演会」
		特別展「濃飛の甲冑」		特別展「恐竜足跡化石レプリカ除幕式		講師 作家 阿川弘之氏
	7 月	特別展「世界のコガネムシ」		グリーンアドベンチャー標識設置（自然観察のこみち）	平成 9 年 3 月	作家 山田智彦氏
	10 月	特別展「能面と装束」		岐阜県博物館協議会に、「新しい時代・県民ニーズに対応できる博物館の在り方について」諮問		ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」
昭和 54 年	4 月	入館者 40 万人を突破		岐阜県博物館協議会から中間答申	4 月	中山道編ソフト完成
		特別展「濃飛の先史時代」		岐阜県博物館案内 4,000 冊の寄贈を受ける	7 月	特別展「花と鳥のイリュージョン～江戸の学問と芸術～」
	7 月	特別展「世界の貝」		特別展「輪中と治水」	9 月	特別展「葉草のふるさと伊吹」
	10 月	特別展「濃飛の文人」		特別展「白山の自然」	11 月	入館者 180 万人を突破
	11 月	「視覚障害者（触察）コーナー」開設		恐竜足跡化石レプリカ除幕式		棚橋賞受賞「岐阜県博物館“マイ・ミュージアム”～来るべき世紀の新しい博物館を目指して～」
昭和 55 年	4 月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」		グリーンアドベンチャー標識設置（自然観察のこみち）	平成 10 年 3 月	財団法人日本博物館協会表彰
		入館者 50 万人を突破		岐阜県博物館協議会に、「新しい時代・県民ニーズに対応できる博物館の在り方について」諮問		ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」
	5 月	入館者 50 万人を突破		岐阜県博物館案内 4,000 冊の寄贈を受ける		飛驒街道・郡上街道編ソ
	7 月	特別展「化石の世界」		特別展「輪中と治水」		
	10 月	特別展「養虫山人」	平成 3 年 3 月	特別展「白山の自然」		
昭和 56 年	4 月	特別展「美濃の絵馬」		特別展「ふるさとの木文化」		
	5 月	入館者 60 万人を突破		7 月		
	7 月	特別展「御岳山は生きている」		特別展「ふるさとの哺乳動物」		
	10 月	特別展「ふるさとの美濃古陶」		10 月		
昭和 57 年	4 月	特別展「高賀山の信仰」		置県 120 年・岐阜鹿兒島姉妹県盟約 20 周年記念展		
		入館者 70 万人を突破		「鹿兒島～その自然と歴史～」		
	7 月	特別展「ふるさとの植物」		入館者 140 万人を突破	平成 4 年 3 月	
	10 月	特別展「東洋の貨幣」		岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申		
昭和 58 年	4 月	特別展「岐阜県の考古遺物」		4 月		
		入館者 80 万人を突破		特別展「飛驒のあけぼの～交流する縄文・古代人～」		
	5 月	入館者 80 万人を突破		7 月		
	7 月	特別展「長良川」		特別展「恐竜王国・恐竜～謎とロマン～」		
	10 月	特別展「郷土の生んだ先覚者」		10 月		
昭和 59 年	4 月	特別展「濃飛の戦国武将」		特別展「近世に輝く濃飛の群像」		
	7 月	特別展「ふるさとの昆虫」		11 月		
	8 月	入館者 90 万人を突破		小中学生常設展入館料無料化		
	10 月	学習ビデオスタジオコーナーを設置		入館者 150 万人を突破		
		特別展「濃飛の蘭学」	平成 5 年 3 月	特別展「土と炎の芸術」		
昭和 60 年	4 月	特別展「濃飛の縄文時代」				
	7 月	特別展「鉱物の世界」				
	10 月	特別展「美濃の刀剣」				

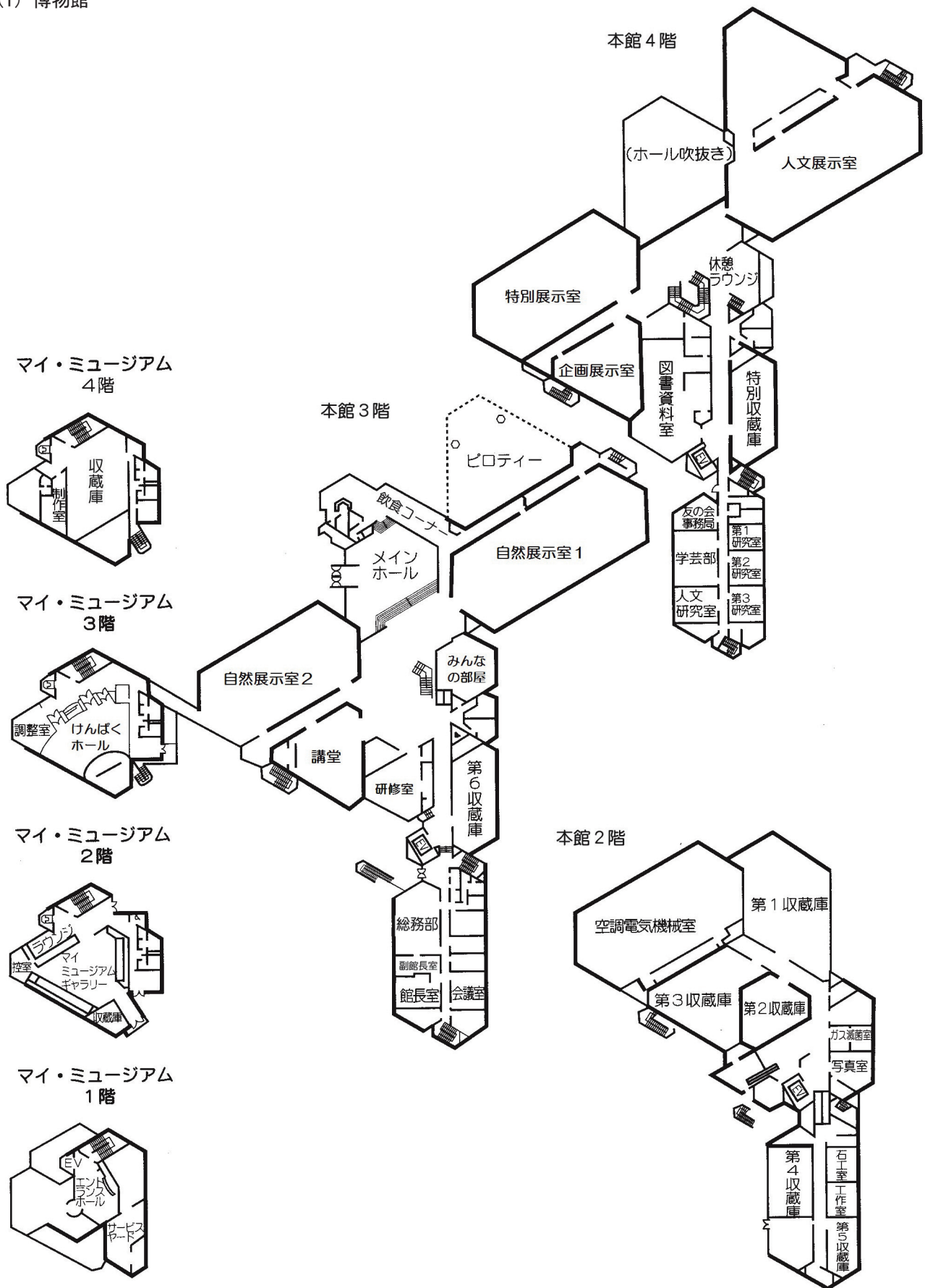
	フト完成 アロサウルス骨格標本展示	9月	特別展「野の幸・山の幸、岐阜～発見！キノコと山菜、薬草の魅力～」	11月 平成23年9月	文化の日博物館無料開放 開館35周年記念特別展「濃尾震災120年」
4月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」完成記念事業：風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」	10月 平成16年7月	入館者220万人を突破 特別展「タイムトラベル 石器時代～大昔はどんな暮らしをしていたの？～」	11月 平成24年7月	文化の日博物館無料開放 入館者270万人を突破 特別展「ジオペディアぎふ」 特別展「飛騨・美濃の信仰と造形 一古代・中世の遺産一」
7月	特別展「つのつのかぶとむし」	9月	特別展「里山ミュージアム～ドングリころころオタカびゅん～」	11月 平成25年9月	文化の日博物館無料開放 特別展「弥生大集落 一荒尾南遺跡が語るモノと心一」
9月	特別展「能面へのいざない～白山山麓から～」	平成17年4月	高校生以下入館料年間無料化（特別展入館料無料化）	11月	文化の日博物館無料開放
平成11年7月	特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」	5月	入館者230万人を突破	11月 平成26年2月	文化の日博物館無料開放 入館者280万人を突破
9月	入館者190万人を突破 特別展「恐竜時代」 特別展入館者4万人突破	7月	特別展「線路はつづくよ～岐阜、鉄道のあゆみ～」	7月	特別展「奇なるものへの挑戦 明治大正 / 異端の科学」
10月	特別展「水とまつり～古代人の祈り～」	平成18年4月	開館30周年記念式典挙行 開館30周年記念特別展「緑いきいき！岐阜の森」	9月	特別展「里山いま昔 一人と自然 あらたな“絆”を求めて一」
平成12年7月	特別陳列「円空展～魂を木に刻んで～」	5月	開館30周年記念植樹 モリゾー・キッコロ来館 全国植樹祭中濃サテライト会場～来館者全員招待入館～」	11月 平成27年4月	文化の日博物館無料開放 百年公園駐車場を無料化 特別展「天下人の時代 ～信長・秀吉・家康と美濃～」
9月	特別展「すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」	8月	入館者240万人を突破 飛騨美濃合併130周年記念行事博物館1日無料開放	9月	特別展「自然のくすり箱 ～薬草とわたしたちの暮らし～」
11月	入館者200万人を突破	9月	飛騨美濃合併130周年記念特別展「錦絵が語る美濃と飛騨」	11月 平成28年7月	文化の日博物館無料開放 飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展
平成13年7月	特別展「あのごろいた鳥～そういえばトキもおったげな～」	11月 平成19年7月	文化の日博物館無料開放 特別展「恐竜と生命の大進化～中国雲南5億年の旅～」	8月	「新・恐竜学～鳥になった恐竜の脳科学～」 入館者290万人を突破
9月	特別展「七代目団十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」	9月	特別展「発掘された日本列島2007～新発見考古速報展～」	9月	カリコテリウム類の化石（国内初発見）特別展示 飛騨美濃合併140周年・岐阜県博物館開館40周年記念特別展
11月	ハイビジョン静止画番組「石ころの動物園」（マイミュージアムギャラリー） 全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2001 グランプリ受賞	10月	入館者250万人を突破	平成29年4月	「東海地方の円空仏」 SNS開設
平成14年2月	NEDO共同研究事業太陽光発電システム完成	11月 平成20年5月	文化の日博物館無料開放 日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」 3,800冊の寄贈を受ける	7月	民間施設連携開始 特別展「生きている大地～地質図が語るぎふの大地～」
3月	バリアフリー対策事業小型モノレール（スロープカー）完成	9月	特別展「骨のあるやつ」	9月	中濃地域連携企画展 特別展「壬申の乱の時代～美濃国・飛騨国の誕生に迫る」
4月	特別展「温泉展～湯の華からのメッセージ～」	平成21年9月	文化の日博物館無料開放 特別展「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」	10月	関市シティバス「百年公園前」バス停新設
5月	入館者210万人を突破	10月	入館者260万人を突破	12月	収蔵品選集製作
10月	特別展「中山道街道400年」	11月 平成22年7月	文化の日博物館無料開放 特別展「川ーカワ・イイね！～流れが作り出す自然～」		
平成15年7月	特別展「昭和くらしの歩み～30年代を中心に～」				

5 歴代館長名簿

	在職期間（年度）	氏名		在職期間（年度）	氏名
1	昭和51年	小幡 忠 良	14	平成13年～平成14年	高橋 宏 之
2	昭和52年～昭和54年	松尾 克 美	15	平成15年～平成16年	武山 栞 司
3	昭和55年～昭和56年	大橋 桃之輔	16	平成17年	下畑 五 夫
4	昭和57年～昭和58年	吉本 幹 彦	17	平成18年	古川 和 明
5	昭和59年	関谷 美智男	18	平成19年～平成20年	高屋 一 行
6	昭和60年～昭和61年	廣田 照 夫	19	平成21年	浅野 裕 司
7	昭和62年～昭和63年	森崎 利 光	20	平成22年	石田 克
8	平成元年～平成2年	伊藤 秀 幸	21	平成23年～平成24年	河合 正 明
9	平成3年～平成4年	篠田 幸 男	22	平成25年～平成26年	後藤 弘 之
10	平成5年～平成6年	横山 勢津男	23	平成27年	杉原 茂 男
11	平成7年～平成8年	清水 廣 美	24	平成28年	水谷 淳 子
12	平成9年～平成10年	高田 晃	25	平成29年	中島 守
13	平成11年～平成12年	遠藤 祐 神			

6 施設・設備

(1) 博物館



主要室（名称及び面積）

本館	室名	面積 (㎡)	マイ・ミュージアム	室名	面積 (㎡)
2階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0			
	第3収蔵庫	192.0			
	第4収蔵庫	99.4			
	第5収蔵庫	55.0			
3階	自然展示室1	583.8	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫室	202.3 25.3 18.5
	自然展示室2	478.8			
	みんなの部屋	95.4			
	研修室	174.5	3階	けんぱくホール 調整室	192.3 47.0
	第6収蔵庫	93.2			
		142.8			
4階	人文展示室	942.3	4階	収蔵庫等	281.3
	特別展示室	478.8			
	企画展示室	193.2			
	図書資料室	232.2			
	特別収蔵庫	142.8			
本館合計		4,344.3	マイ・ミュージアム棟合計		842.7

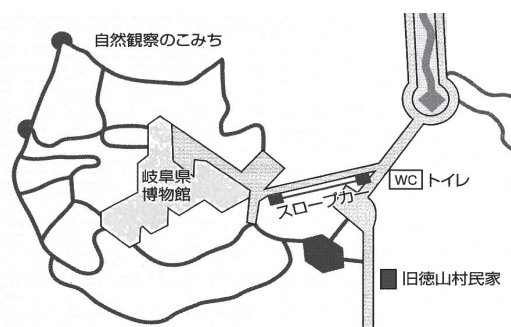
(2) 館外施設

① 自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約 830mで、途中見晴らし台が2か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、樹木にQ&Aパネルを設置している。



自然観察のこみち

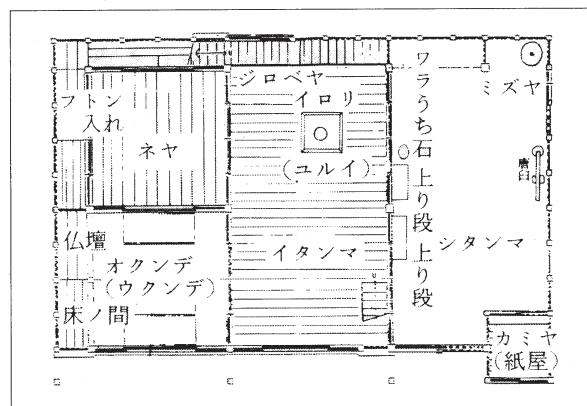
② 旧徳山村民家

徳山ダム建設計画に伴い、徳山村は閉村となり揖斐川町になったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料開放している。なお、平成13年9月、茅葺屋根の一部葺き替えを実施した。

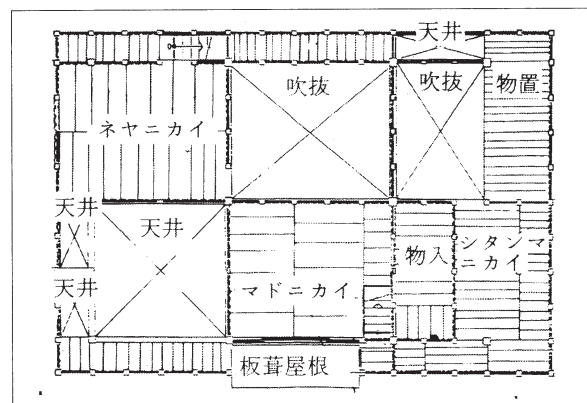
- ・様式：木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材：ブナ、トチ
- ・延面積：120.97㎡
- ・延面積：197.48㎡
- ・間取り：右図参照
- ・建築年代：幕末から明治前期ごろと推定
- ・屋根：入母屋、切り落とし窓つき



旧徳山村民家



▲1階間取り図

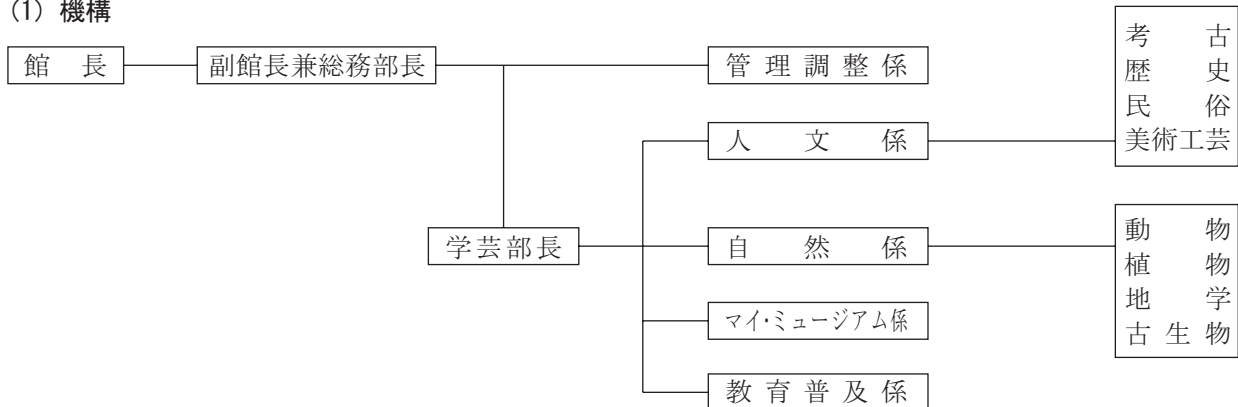


▲2階間取り図

II 平成30年度の組織・体制

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	平井克昭	【学芸部】		[マイミュージアム係]	
副館長兼総務部長	小野精三	学芸部長	山田昭彦	主査	金子好孝
【総務部】		兼マイミュージアム係長		員	竹中初男
[管理調整係]		[人文係]			益田豊
課長補佐	岡田秀利	課長補佐(考古)	長屋幸二	[教育普及係]	
主	柴田香	主査(歴史)	近藤大典	課長補佐	土田牧也
"	日比野新	"(民俗)	南本有紀	主査	土吉田泰久
主	佐藤宏紀	"(美術工芸)	守屋靖裕	学芸業務専門職	井上好章
"	市村祥紀	[自然係]		"	橋本清
雇員	小野真紀	課長補佐(地学)	松本正樹	管理業務専門職	鈴木春菜
		"(植物)	可児美紀	"	坪井宏美
		主査(動物)	説田健一	"	長田麻友子
		臨時主事(古生物)	高津翔平	"	加藤章
				"	福島江里菜
				"	倉橋美紀子
				"	鈴木奈おみ

(3) 異動(平成30年4月1日)

転出者	館長	(中島守)	転入者	館長	平井克昭
(退職者)	学芸部長	高屋嘉文	課長補佐	長屋幸二	
	課長補佐	加藤信男	"	土田牧也	
	"	児山耕生	主査	金子好孝	
	主査	柴田英夫	主任	柴田香紀	
	主事	佐藤里歩	主事	佐藤宏紀	
	学芸業務専門職	(池田詩苑)	"	市村祥紀	
			学芸業務専門職	鈴木春菜	

2 展示活動

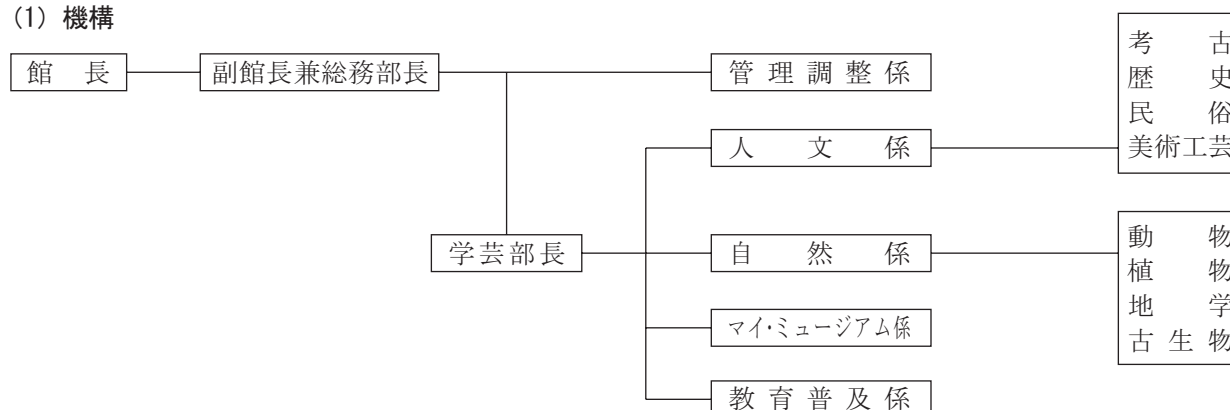
展 示 名	期 間	展 示 内 容
常設展	年 間	人文展示室では「郷土のあゆみ」を主題とし、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。特別展示室または企画展示室では「郷土の民俗と美術工芸」を主題とし、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示する。自然展示室1では「郷土の自然とおいたち」を主題とし、郷土の自然の概要を系統的に展示する。自然展示室2では「郷土のさまざまな自然」を主題とし、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。
移動展 (会場：飛騨高山まちの博物館) 「恐竜の世界～小田隆が描く古生物の姿～」	4/11 (水) ～6/10 (日)	図鑑などでおなじみの恐竜をはじめとする様々な古生物たち。その生き生きとした様子を描く復元画は、化石の研究から得られた情報をもとに科学的に制作されたものです。本移動展では、日本を代表する恐竜復元画家小田隆氏の手による復元画作品を展示するとともに、画家が科学的に作品を仕上げている過程について紹介します。研究者との綿密なやりとりによって描かれた恐竜の姿を私たちに見せてくれる小田隆氏の世界に迫ります。
特別企画展 「兼定 刀都・関の名工」	4/27 (金) ～6/24 (日)	中世に遡る刃物産地として知られる関の刀鍛冶の中でも刀工として初めて受領名を許された名工・和泉守兼定を取り上げます。戦国争乱の終結後、関鍛冶が全国に活動の場を広げるなか、兼定は関での活動が16世紀半ばまで確認されており、その後同銘工が会津藩(福島県)に移って明治まで十一代が継承しました。歴史をにぎわせたときどきの勇者名士に愛蔵され、日本史上に彩りを添えたこれら兼定銘の刀剣が一堂に会します。
特別展 「理科室からふるさとの自然を見つめて ～知れば知るほど面白い標本の世界～」	7/6 (金) ～9/2 (日)	戦前の学校の理科室には、トキやライチョウをはじめ、オーストラリアにしかないカモノハシなどの珍しい標本がたくさんあり、児童生徒は郷土だけでなくグローバルな自然のあらましを学ぶことができました。本特別展では、大学や高等学校が所蔵していた戦前の標本をはじめ、生物の分布や分類など調査研究の証拠として博物館が所蔵する標本を多数展示し、生物標本の面白さに触れ、岐阜の多様な自然のすばらしさを紹介します。
特別展 「信長・秀吉・家康と美濃池田家 —大御乳・池田恒興・輝政の戦い—」	9/14 (金) ～11/11 (日)	岐阜の地は、信長、秀吉、家康の三人が統一権力を形成していくなか、重要な役割を果たしました。約10年にわたり岐阜に本拠地をおいた信長、美濃を基盤に台頭の糸口をつかんだ秀吉、そして関ヶ原で政権の帰趨を決した家康とそれぞれの「天下人」にとって画期となる場所でした。今回美濃に関わりの深い大名池田氏(大御乳・恒興・輝政)を中心に各地に所在する文化財から、織豊・徳川政権の形成にこの地が果たした役割を探ります。
企画展 「化石が語る繁栄と絶滅 ～瑞浪層群の哺乳類化石～」	11/23 (金・祝) ～1/27 (日)	岐阜県には、5億年以上前の古生代の岩石類、地層群から現在まさに作られている新生代の地層群や岩石類が広がっています。なかでも岐阜県の瑞浪・可児・岩村盆地には、新生代の前期～中期中新統(約2,000万年～1,500万年前)の陸・海成の地層である瑞浪層群が広く分布しています。本企画展では、岐阜県の哺乳類化石をテーマに、瑞浪市化石博物館の所蔵標本約50点を含めこれらの貴重な資料群を一堂に紹介します。
博物館・図書館連携企画展 (会場：岐阜県図書館) 「歌川国芳 木曾街道六十九次」	前期 11/2 (金) ～11/25 (日) 後期 12/12 (水) ～12/27 (木)	江戸時代の浮世絵師、歌川国芳(1798～1861)が描いた「木曾街道六十九次」は、全72枚の物語絵の揃物(シリーズ物)です。この「木曾街道六十九次」を全点揃いで所蔵している団体・個人は非常に少なく、岐阜県博物館が誇るコレクションの一つとなっています。本連携企画展では、全72枚を前期・後期に分けて展示し、「木曾街道六十九次」を読み解きながら、江戸時代の人々の娯楽を紹介します。
博物館・図書館連携企画展 (会場：岐阜県図書館) 「芝居大国! 岐阜」	1/12 (土) ～3/10 (日)	岐阜県は全国有数の地芝居(地域民による歌舞伎・人形浄瑠璃上演)伝承地として知られ、近年は中絶した歌舞伎の復興や定期公演化、外国人向けのツアープログラム開発など積極的に活用が図られています。2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会文化プログラムの一環として地歌舞伎事業が採択されています。本展では歌舞伎や浄瑠璃(娘義太夫・人形浄瑠璃)などの芸能資料で豊かな地芝居文化を振り返ります。
明治150年ミニ展 「岐阜県誕生 —清流の国ぎふの源流を訪ねて—」	6/9 (土) ～7/16(月・祝)	約1,300年前、飛騨・美濃両国が成立しました。この両国は明治維新を経る中で現在の岐阜県へと大きく変貌を遂げました。今回は当館が所蔵する資料に加え、県内各地に伝わる貴重な資料を展示し、「飛騨・美濃の誕生」から「岐阜県誕生」に至るまでの歴史を紐解きます。また岐阜県と清流とのかかわりについて関心を深めていただく機会となるよう、「清流」に焦点をあて、古代から近代までの秘せられた治水工事の歴史も紹介します。
明治150年ミニ展 「明治に発想! 天然記念物の祖三好 学」	6/9 (土) ～7/16(月・祝)	全国で大切にされている天然記念物。そのシステムを明治に発想し中心となってつくったのは、岐阜が誇る偉人三好学です。彼は幼少期を岩村で過ごし、わずか17歳で土岐小学校長となったのち東京帝国大(現:東大)に進学します。そこで植物学を究め、ドイツ留学を経て名誉教授となりました。教科書「普通植物生態学」をはじめ、桜に関する研究報告など多くの名著を残しました。天然記念物の祖といわれる三好学の功績を紹介します。

展 示 名	期 間	展 示 内 容
マイミュージアムギャラリー 第1回展示 「現代の刀装職方と金工美濃彫展 ～匠の技と雅な刀装具～」	4/7(土) ～5/27(日)	日本美術刀剣保存協会岐阜県支部は、昭和32年の設立以来、刀剣・刀装・刀装具の研究、保存及び交流といった活動に取り組んできました。昨年の「日本刀押形展～幽玄美へのいざない～」の開催に続き、今年度は「現代の刀装職方と金工美濃彫展～匠の技と雅な刀装具～」を開催します。題名の「刀装」とは刀剣の外装であり拵のことです。現代の職方(柄巻師・鞘師・塗師・白銀師)が匠の技を駆使して作り上げた刀装19口とその刀身7振り、さらに郷土が誇る金工美濃彫(鐔・目貫・縁頭・筭・小柄)の優品55点を今回一同に展示します。
マイミュージアムギャラリー 第2回展示 「≪明治150年・福澤桃介生誕150年記念≫ 論吉から桃介へ～日本近代化の軌跡～」	6/9(土) ～7/16(月・祝)	明治元年から今年でちょうど150年。日本が近代国家に生まれ変わろうとするまさにその年に岩崎桃介は産声をあげました。福澤諭吉に才を見込まれ、養子に迎えられた桃介は直ちにアメリカへ留学し、帰国後、民間初の外債発行等を手掛けました。相場の名人となって財を築いた彼は次々に重化学工業を立ち上げ、経営の鬼才と謳われました。中でも急流木曾川を舞台に日本初のダム建設に成功したことが日本の工業水準を一気に欧米並みに押し上げたといえます。今回は大井ダム関係をはじめ約100点に及ぶ展示品を通して、論吉から桃介へ、父子二代にわたって祖国の近代化に情熱を注いだ「明治人魂」に迫ります。
マイミュージアムギャラリー 第3回展示 「夢虫! 熱虫! 懐かしの漫画・アニメコレクション ～過去から未来への贈り物～」	7/28(土) ～9/24(月・祝)	鉄腕アトムをはじめ、ジャングル大帝、リボンの騎士、火の鳥、ブラックジャックなど多くの漫画を生涯描き続けた「漫画の神様」手塚治虫。2018年は奇しくも手塚治虫が誕生して90年となります。今回は昨年に引き続き、手塚治虫コレクターの林さんが漫画やカバン、筆記用具など様々な虫プロ時代の本やグッズなど約1,000点を、また、鉄腕アトムコレクターで熱中凝歴人(コレクター) 倶楽部代表の小池さんが鉄腕アトム関連のグッズ約100点を展示して、日本のアニメや漫画の歴史を振り返ります。
マイミュージアムギャラリー 第4回展示 「ギネス認定きものコレクション ～岐阜ゆかりのきものたち～」	10/6(土) ～11/25(日)	揖斐川町在住の樋口富喜さんは、着物の手触りや色合い、職人技の素晴らしさ、そこから見えてくる時代背景や日本の美に魅せられ、13年間にわたって着物を収集してきました。その成果は、2015年2月9日「最も多いきものコレクション」として、ギネス世界記録に認定されました。今回は6,000点余りのコレクションの中から、岐阜出身の人間国宝の作品や鶴飼、ひょうたんなど岐阜に関連した意匠が描かれた着物など、岐阜県ゆかりの着物約100点を展示します。
マイミュージアムギャラリー 第5回展示 「ようこそ『新生代』の化石の世界へ」	12/8(土) ～1/27(日)	「新生代」は6,500万年前に恐竜が絶滅した後、クジラやゾウの進化に代表されるように哺乳類が繁栄した時代です。しかし、その生態系は多岐にわたり、哺乳類だけでなく他の動植物にも及んでいます。今回は、滋賀県大津市在住の飯村強さんと瑞浪市在住の渡辺基文さんをはじめ8人の収集家・研究者の展示です。岐阜県を中心に周辺の地域から産出した新生代の化石約350点を独自の方法で展示し、多様な「新生代」の姿を紹介します。
マイミュージアムギャラリー 第6回展示 「井戸家のお雛様 ～圧巻! 古今東西雛揃え!」	2/16(土) ～3/24(日)	現在の雛飾りは、内裏雛、三人官女、隨身、仕丁、雛道具という規格化されたものです。昭和30年代初めまでは、東では金屏風の前に一対の雛を飾る段飾り、西では御殿の中に雛を飾る御殿飾り、雛人形とともにままごと道具を飾る習慣もありました。このように全国各地にはその地域ごとの雛祭りがあります。また、現代の雛人形の原型といわれる古今雛は、江戸の職人により創作され、京都へと伝わり現代に受け継がれました。江戸、京都の古今雛、明治から昭和に至る御殿飾りを通して雛飾りの歴史や文化の違いを紹介し、あわせて雛道具や当時の生活を垣間見ることができるお勝手道具も展示します。

III 平成29年度のあゆみ

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	中島 守	【学芸部】		[マイ・ミュージアム係]	
副館長兼総務部長	小野 精三	学芸部長	高屋 嘉文	課長補佐	加藤 信男
【総務部】		[人文係]		主査	竹中 初子
[管理調整係]		課長補佐(歴史)	山田 昭彦	主査	益田 豊
課長補佐	岡田 秀利	主査(考古)	近藤 大典	[教育普及係]	
主査	柴田 英夫	主査(民俗)	南本 有紀	課長補佐	児山 耕生
主任	日比野 新	主査(美術工芸)	守屋 靖裕	主査	吉田 泰久
主事	佐藤 里歩	[自然係]		学芸業務専門職	井上 好章
主事	小野 真紀	課長補佐(地学)	松本 正樹	主査	橋本 清苑
主事		主査(植物)	可児 美紀	学芸業務専門職	池田 詩津希
主事		主査(動物)	説田 健一	管理業務専門職	阿部 井宏美
主事		臨時主事(古生物)	高津 翔平	主査	坪井 麻友子
				主査	長田 和司
				主査	渡邊 章
				主査	加藤 江里菜
				主査	福島

(3) 異動(平成29年4月1日)

転出者	館長	(水谷 淳子)	転入者	館長	中島 守
(退職者)	課長補佐	戸本 博志		課長補佐	岡田 秀利
	"	河合 清太		主査	吉田 泰久
	主査	二村 博樹		主任	日比野 新
	学芸業務専門職	(石田 克)		臨時主事	高津 翔平
	臨時主事	(服部 創紀)		学芸業務専門職	橋本 清紀
				職員	小野 真紀

2 岐阜県博物館協議会

岐阜県博物館協議会は、博物館法及び岐阜県博物館条例に基づいて設置されている機関で、岐阜県博物館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。委員は次のとおりである。

氏名	現職名
阿部和久	中日新聞岐阜支社長
小川鈺子	岐阜県博物館友の会副会長
亀谷みゆき	朝日大学法学部准教授
桐山圭司	岐阜新聞社取締役編集局長
重森万紀	NHK岐阜放送局長
清水優子	中部学院大学・短期大学部附属桐が丘幼稚園長
杉山多美子	岐阜県小中学校長会、山県市立伊自良南小学校長
杉山博文	岐阜女子大学理事長
長井知子	岐阜県PTA連合会副会長
◎日比治男	元岐阜県教育長、元岐阜県教育文化財団理事長
古川秀昭	OKB ギャラリーおおがき館長 前岐阜県美術館長

◎会長 (平成28年11月15日現在 五十音順・敬称略)
任期は平成28年9月24日から平成30年9月23日

(開催状況)

月日 平成29年11月14日(火)

場所 岐阜県博物館 けんぱくホール

○次第

- (1) 岐阜県博物館の現状と実績について
- (2) 議題：博物館機能の全展開について
- (3) その他(報告事項)：平成30年度の特別展・企画展計画について

○主な提案・意見

- ・博物館の民間商業施設連携に関すること
- ・学校(幼稚園・保育園含む)利用の推進に関すること
- ・他の県有施設との連携に関すること
- ・総合博物館としての在り方と館の特徴に関すること
- ・博物館の環境整備に関すること
- ・県内の文化財保護等の指導、情報発信に関すること

3 日誌抄

- | | | | | | |
|------|--|-------|---|-------|--|
| 4. 1 | 人事異動に伴う辞令交付 | 11 | モレラ岐阜「ワークショップ化石レプリカを作ろう」 | 11 | の幽霊考察 世阿弥の『幽霊』創造について |
| 9 | けんぱく教室「百年公園で春を見つけよう」 | 11 | 移動展ワークショップ『「和とじ」を使って昔のノートをつくろう」 | 11 | MMG展示《齋藤美術館移動展》「郡上ゆかりの茶道具コレクション」(～12/28) |
| 11 | ミニ企画展「養老改元1300年祭協賛事業「いとしのひょうたん」(～6/18)」 | 12 | けんぱく教室「家族で昆虫標本をつくろう」 | 11 | ミニ企画展「百年公園の自然を調べる」(～1/31) |
| 22 | 企画展「関ヶ原～天下分け目の合戦と美濃～」(～6/25) | 13 | わくわく体験新メニュー登場「限石ハンティング」化石掘り出し | 11 | 学芸講座「入門岐阜県の古代史～美濃国・飛騨国ができたころ～」 |
| 22 | MMG展示「日本刀押形展～幽玄美へのいざない～」(～6/18) | 15 | 小屋名精霊送り「チンチカカ」の日限定小屋名地区住民限定無料入館日 | 11 | ういちおもしろ講座「岐阜県にいた古生物と化石レプリカづくり」 |
| 22 | 学芸講座「恐竜進化の足どり～足の形から探る鳥の進化史～」 | 19 | 特別展講演会「岐阜の大地を生活の中で観る～Web版岐阜県地質図『ジオランドぎふ』の紹介～」 | 12 | けんぱく教室「大昔の人のくらしに挑戦しよう」 |
| 5. 3 | けんぱく教室「竹で機関車をつくろう」 | 26 | 出前講座(各務原市小学生化石レプリカづくり) | 18 | 学芸講座特別企画「ミトコンドリア遺伝子と長寿～オートファジーが長生きのカギ～」 |
| 6 | 学芸講座「たかが鱒～石河原香がフィリピンで捕獲したシャムワニについて～」 | 27 | けんぱく教室「まゆ玉で『かわいい動物たち』をつくろう」 | 19 | けんぱく教室「徳山のくらし体験地獄うどんを食べよう」 |
| 7 | けんぱく教室「アンモナイトのひみつをさぐる」 | 27 | ミニ企画展「岐阜のアカカミアリ」(～10/31) | 23 | 三重県総合博物館(MieMu)交流企画体験ワークショップ「どんぐり標本箱」 |
| 13 | 仏像講座①「仏像が移動する?—安置場所が変わることの意味—」 | 9. 2 | 学芸講座「新発見!石谷家文書から探る本能寺の謎」 | 25 | 企画展「命輝く清流長良川～清流とともに移りゆく植物～」(～2/25) |
| 20 | 学芸講座特別企画「関ヶ原合戦と美濃」 | 3 | 三重県総合博物館(MieMu)交流企画講演会「カモシカとそのなまたち」 | 25 | ぎふサイエンスフェスティバル2017 けんぱくワークショップ |
| 20 | スプリングフェスティバルけんぱくワークショップ | 9 | 日本刀鑑賞講座 | 12. 2 | 学芸講座特別企画「西之島 vs 鳥類～こうして島に生態系が生まれる～」 |
| 21 | スプリングフェスティバルけんぱくワークショップ | 9 | MMG展示「熱虫!昭和アニメ・漫画コレクション～大切なものは変わらない～」(～11/3) | 3 | seki いきいきフェスタけんぱくワークショップ |
| 28 | 現地体験講座「学芸員と歩くふるさとの大地『西濃編』」 | 12 | 関刀物まつり協賛展示「関鍛冶が作った刀剣」(～11/5) | 9 | 古文書読解講座②「戦国大名の文書を読み解く」 |
| 6. 6 | ミニ企画展「方言から見てくる岐阜の生物～金古弘之氏のあしあと～」(～10/29) | 12 | 中濃地域連携企画・ミニ企画展「郡上竿と美濃和紙」(～11/5) | 9 | モレラ岐阜「ワークショップ化石レプリカを作ろう」 |
| 10 | 学芸講座「岐阜県にいた絶滅哺乳類～カリコテリウム類の発見～」 | 15 | 特別展「壬申の乱の時代—美濃国・飛騨国の誕生に迫る—」(～11/19) | 10 | 現地体験講座「金華山のいきものたちと出会う登山」 |
| 17 | 企画展「関ヶ原～天下分け目の合戦と美濃～」来場者数1万人突破 | 23 | 学芸講座「古代寺院からみた飛騨国」 | 16 | 学芸講座特別企画「針で原子を見て、識別して、動かす!～走査型プローブ顕微鏡～」 |
| 18 | けんぱく教室「『和とじ』を使って昔のノートをつくろう」 | 23 | 特別展にて「新指定の国宝『平城京跡出土土簡』の期間限定展示」(～10/9) | 17 | けんぱく教室「まが玉をつくろう」 |
| 24 | 学芸講座特別企画「関ヶ原合戦から大阪の陣へ」 | 10. 1 | 山県市ふるさと栗まつり2017 けんぱくワークショップ | 23 | けんぱく教室「クリスマス・ナイトミュージアム」 |
| 7. 1 | MMG展示「太古の海から天の森まで4億年～新川コレクション美濃飛騨とその周辺の化石・鉱物展～」(～8/27) | 1 | 関シティブスのバス停「百年公園北口」が新設 | 25 | 年末すす払いメインホールの恐竜全身骨格 |
| 7 | 特別展「生きている大地～地質図が語るぎふの大地～」(～9/3) | 7 | 三重県総合博物館(MieMu)交流企画講演会「壬申の乱と古代の伊勢国、そして富宮」 | 26 | 県博・関市連携企画展「歴史育む清流長良川～弥勒寺史跡公園を歩く～」(～3/18) |
| 8 | 仏像講座②「仏像の基礎的研究とは?—関市・臨川寺の釈迦如来坐像を例に—」 | 7 | マーサ de 博物館「コラボスタンプラリー」(～11/3) | 26 | ミニ特集展「杉原千蔵と命のビザ シベリアを越えて～寿福滋写真展～」(～3/18) |
| 15 | 特別展講演会「地質図からわかる日本の地質～足下の数億年の歴史が私たちの生活を支える～」 | 7 | 出前講座(下有志小ぎんちゃん広場化石取り出し他) | 1. 7 | 博物館友の会企画「七草がゆを食べよう」 |
| 21 | 博物館・図書館連携企画展「東西激突! The 関ヶ原～関ヶ原合戦と岐阜城合戦～」(～9/18) | 7 | 出前講座(下有志小ぎんちゃん広場化石取り出し他) | 7 | けんぱく教室「ちょっと昔の正月遊びを体験しよう」 |
| 21 | 移動展「見つめる目 写真家の見た飛騨美濃～細江光洋の飛騨・増山たづ子の徳山・後藤英夫の円空～」(～9/18) | 8 | 特別展講演会「美濃の木簡～古代史の新たな解明～」 | 13 | MMG展示U-18ミュージアム by 岐阜各務野高校・岐阜総合学園高校「高校生によるデジタルアート展」(～1/26) |
| 22 | 学芸講座特別企画「樺文峰のスクラップ帳から～近代日本の「美人」ブーム～」 | 14 | MMG関連講演会「集める楽しみ熱虫!コレクションを語る」 | 13 | 現地体験講座「学芸員と学ぶ百年公園の冬鳥」 |
| 23 | 博物館・図書館連携企画展講演会「関ヶ原合戦をめぐる諸問題」 | 15 | 現地体験講座「学芸員と歩くふるさとの大地『東濃編』」 | 20 | マーサ de 博物館「ワークショップ化石レプリカを作ろう」 |
| 25 | 博物館実習(～7/29) | 21 | オータムフェスティバルけんぱくワークショップ | 2. 3 | MMG展示「ミニチュア古民家模型と建具展～神代杉を使った芸術作品～」(～3/21) |
| 30 | ナイトミュージアム① | 21 | 特別展講演会研究者によるリレートーク「美濃・飛騨の古墳の終末、そして寺院・官衙へ」 | 10 | 探究学習事例発表会・講演会・シンポジウム「博物館の活用可能性を考える」 |
| 8. 3 | 教員のための博物館の日① | 22 | オータムフェスティバルけんぱくワークショップ | 17 | モレラ岐阜「ワークショップ化石レプリカを作ろう」 |
| 5 | けんぱく教室「恐竜を造ろう」 | 22 | 古文書読解講座①「戦国大名の文書を読み解く」 | 24 | 学芸講座「えっ!違うの?思い込みの植物たち～生物多様性と保全～」 |
| 6 | 特別展ギャラリートーク with 各務野高校 | 28 | 出前講座(藍川北中化石取り出し) | 24 | ぎふ清流文化プラザワークショップギャザリング |
| 6 | 出前講座「茶見自治会連合会地域サロン化石レプリカづくり」 | 11. 3 | 岐阜一ふるさとを学ぶ日(無料開放日)けんぱくワークショップ | 3. 4 | 現地体験講座「弥勒寺公園を歩く」 |
| 8 | ミニ企画展「外来種ヒアリ」 | 3 | 三重県総合博物館(MieMu)交流企画体験ワークショップ「昆虫の切り紙づくり」 | 10 | カラフルタウン岐阜「ワークショップ化石レプリカを作ろう」 |
| 9 | 教員のための博物館の日② | 3 | 特別展「壬申の乱の時代—美濃国・飛騨国の誕生に迫る—」来場者数1万人突破 | 11 | 学芸講座「備前伝と美濃伝日本刀五ヶ伝について」 |
| | | 4 | けんぱく教室「オータム・ナイトミュージアム」 | 17 | サンサンシティ・マーゴ「ワークショップ化石レプリカを作ろう」 |
| | | 4 | 三重県総合博物館(MieMu)交流企画講演会「能 | | |

4 実施事業の概要

「県民の皆様が岐阜県の自然や歴史・文化に親しみ、誇りをもつことができる博物館」を平成 29 年度の運営目標として、特別展、企画展、移動展、マイミュージアムギャラリー展示を開催した。その他、特別展のテーマに関わるその道の研究者による講演会など各種講演会・講座、参加体験型の教育普及事業として 33 回の催し物、学芸員による 11 回の出前授業や 13 回の講師派遣など多くの事業を展開した。特に、特別展「生きている大地～地質図が語るぎふの大地～」 「壬申の乱の時代―美濃国・飛騨国の誕生に迫る―」と 2 本を行い、全国各地から多くの方々にご覧いただいた。

(1) 展示活動

特別展・企画展、連携企画展、移動展、マイミュージアムギャラリーの展示を下表のとおり実施した。

(2) 調査研究活動

人文分野では、平成 30 年度の特別展に関連した織豊期の池田家を中心とした資料をはじめとして県内外資料の調査を行った。自然分野では、百年公園の里山の動植物生態調査（モニタリング 1000）、県内植物分布調査、平成 30 年度動物分野展示に向けた県内外の資料調査などを行った。

マイ・ミュージアムでは、当館収蔵品と図書館の蔵書のデータベースの構築を行った。また、マイミュージアムギャラリー出展作品の調査研究や出展者の新規開拓を行った。

(3) 資料収集活動

人文分野では、県内各地で資料の所在調査を実施した。自然分野では、県内外の古生物、岩石鉱物資料を資料として加えた。

(4) 教育普及活動

昨年度初開催して好評を得た「教員のための博物館の日」を本年度も 8 月に 2 日間開催し、参加者が昨年のおよそ 3 倍ほどに増えた。わくわく体験では、夏休み期間限定で行った「化石掘り出し」「水晶ジオード割り」が好評で、通年のプログラムとした。また、小学生の夏休みの自由研究の相談について積極的に広報し、専門の学芸員による解説・指導を行った。

団体等の利用では、学校向けの生活科・社会科・理科の学習プログラムの利用が多かった。「秋みつけ」などの学習プログラムの実施に博物館サポーターの支援を得て、充実した学びを提供した。

博物館サポーターの活動では、80 名が登録し、活動内容にあわせて 11 の活動グループを設け、希望するグループに所属して活動を行った。

5 展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常設展	年 間	人文展示室では、先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示した。特別展示室または企画展示室においては、特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示した。自然展示室 1 では、郷土の自然の概要を系統的に展示した。自然展示室 2 では、特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示した。	—
企画展 「関ヶ原 ～天下分け目の合戦と美濃～」	4/22 (土) ～6/25 (日)	慶長 5 年 9 月 15 日、一日で決着した天下分け目の戦い「関ヶ原合戦」の直前、美濃の地は岐阜城合戦をはじめとして天下の行方を決定付ける上で大きな役割を果たした。本企画展では、県内外に伝わる一流の資料を展示して、決戦に至る過程や推移について、美濃との関わりを中心に紹介した。	11,687
特別展 「生きている大地 ～地質図が語るぎふの大地～」	7/7 (金) ～9/3 (日)	私たちの住む大地は、数億年前から続くプレートの衝突による地殻変動等で姿を変化させてきた。地質図とは、この活動で造られた岩石や地層等、大地の姿を映し出したもので、科学者の知の結晶であるともいえる。本特別展では、この地質図をはじめ、岩石・鉱物・化石、高校生制作のデジタル作品などを用いて、岐阜の大地の姿を紐解いた。	7,913
博物館・図書館連携企画展 【会場：岐阜県図書館】 「東西激突！ The 関ヶ原～関ヶ原合戦と岐阜城合戦～」	7/21 (金) ～9/18(月・祝)	「関ヶ原合戦」自体は僅か一日だったが、その後 200 年以上に及ぶ日本の国制を決定付けた大一番だった。この戦いにおいて美濃の地が果たした役割を、その前哨戦として重要な位置を占める岐阜城合戦を含め考察するとともに、この合戦が岐阜の人々にいかに語り継がれたかを、各地に伝わる資料により紹介した。	11,789
移動展 【会場：飛騨高山まちの博物館】 「見つめる目 写真家の見た飛騨美濃～細江光洋の飛騨・増山たづ子の徳山・後藤英夫の円空～」	7/21 (金) ～9/18(月・祝)	昭和半ばから平成までの飛騨をそこで生きる住民の目線で撮り続けた細江光洋、ダムに全村水没する故郷を出征して帰らぬ夫に見せるために撮影記録した増山たづ子、そして、強烈な陰影の円空写真で知られた後藤英夫。郷土を代表する 3 人の写真家が見つめ続けた岐阜県の文化と風土をその作品を通して紹介した。	33,200
特別展 「壬申の乱の時代―美濃国・飛騨国の誕生に迫る―」	9/15 (金) ～11/19 (日)	古代史上最大の内乱、壬申の乱が起こった飛鳥時代は、美濃・飛騨地方の原形「美濃国」「飛騨国」が明確に姿を現した時代である。本特別展では美濃が大きな存在感を示した壬申の乱を紹介するとともに、県内を代表する古墳時代から奈良時代の遺跡の出土品を中心とする関連資料をもとに「美濃国」「飛騨国」の誕生に迫った。	12,955
企画展 「命輝く清流長良川 ～清流とともに移りゆく植物～」	11/25 (土) ～2/25 (日)	大日ヶ岳を源流とする岐阜県が誇る清流長良川には、豊かな自然が四季折々に命を輝かせる。1500m を超える上流域の貴重な草花の数々や、岐阜市周辺の中流域における金華山の名の由来をもつ黄金色に輝く照葉樹林の特徴的な植物相など、本企画展では、標高差の大きい本県ならではの豊富な植物の数々を紹介した。	6,098
マイミュージアムギャラリー	(P18 参照)	「日本刀押形展」をはじめ、5 回の展示、1 回の U-18 ミュージアムを実施した。	—

企画展 「関ヶ原 ～天下分け目の合戦と美濃～」

1 開催期間

平成 29 年 4 月 22 日(土)～6 月 25 日(日)(58 日間)

前期 4 月 22 日(土)～5 月 21 日(日)(29 日間)

後期 5 月 23 日(火)～6 月 25 日(日)(29 日間)

2 主催

岐阜県博物館

3 趣旨

天下分け目の戦い「関ヶ原合戦」は、慶長 5 年(1600)に関ヶ原の地で戦われ一日で決着した。しかしその直前、美濃の地は岐阜城合戦(岐阜城主織田秀信)を始めとして天下の行方を決定付ける上で大きな役割を果たした。

この企画展では、決戦に至る過程や推移について、県内外に伝わる第一級の資料を中心として、武将の息遣いや美濃との関わりを紹介する。

4 展示構成

(1) 関ヶ原への道

関ヶ原合戦に至る道のりの中で、その前哨戦としての岐阜城をめぐる戦いを軸に美濃の役割や美濃において織田家が果たした役割を展示する。

<展示資料>

織田秀信関連資料(肖像画・兜・禁制/円徳寺・岐阜市歴寄託)

織田信長像(複製・館蔵)、

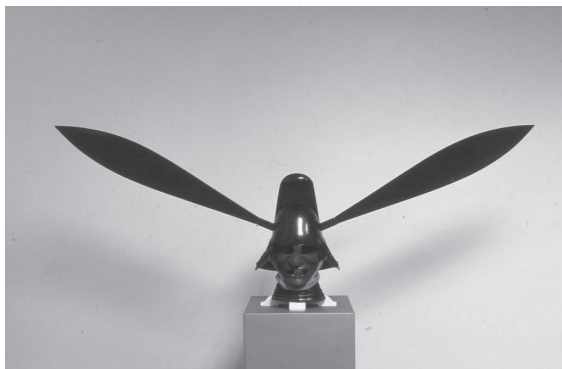
楽市楽座制札・永禄十一年(複製・館蔵)

一柳関連資料(絵巻・陣羽織/小野市立好古館)

藤堂高虎関係資料(肖像画/三重 玉せん寺・兜/伊賀上野城(伊賀市))

福島正則肖像画、加藤嘉明背負陣太鼓(大阪城天守閣)

藤堂高虎唐冠形兜(三重県重文・下写真)



黒漆塗唐冠形兜 藤堂高虎着用
伊賀市(伊賀上野城)蔵

(2) 天下分け目・関ヶ原の戦い

関ヶ原合戦の戦いと、美濃との関わりについて、美濃ゆかりの武将に関わる資料や、在地に伝わる古文書などから跡付ける。

<展示資料>

関ヶ原合戦図屏風(個人蔵)

関ヶ原布陣図(個人蔵)

県内関連古文書(池田輝政禁制、石田・小西・島津・宇喜多連署禁制写/西圓寺・福島正則禁制、織田秀信禁制、織田秀信判物、池田輝政判物/養教寺・岐阜市歴寄託、池田輝政禁制/立政寺、織田秀信禁制/浄安寺)

小早川秀秋書状(大阪城天守閣)

甲冑(脇坂安治/竜野神社奉賛会・下写真)



縹糸威布袋菖蒲蒔絵仏胴 脇坂安治着用
兵庫県たつの市 龍野神社奉賛会蔵

(3) 戦いの末に・大坂の陣への道

関ヶ原の戦いの後、政権の帰趨は大坂城をめぐる問題へと繋がっていく。

この時期の動きについて、美濃ゆかりの資料から跡付ける。

<展示資料>

尾張藩家老竹腰家関連資料(館蔵)、

高木家関連資料(館蔵)

5 関連事業

講演会 関ヶ原合戦と美濃

首都大学東京教授 谷口 央 氏

5 月 20 日(土)

学芸講座 関ヶ原合戦から大坂の陣へ

大阪城天守閣館長 北川 央 氏

特別展 生きている大地 ～地質図が語る岐阜の大地～

1 開催期間

平成29年7月7日(金)～平成29年9月3日(日)

2 主催・後援・協力

主催 岐阜県博物館、岐阜新聞・ぎふチャン
共催 産業技術総合研究所 地質調査総合センター
後援 NHK 岐阜放送局・岐阜県教育委員会

3 趣旨

私たちの住む大地は、数億年前から続くプレートの衝突による地殻変動や幾度となく噴火した火山活動でその姿を変化させている。これらの地球の活動で作られた岩石や地層等の大地の姿を写し出したのが地質図であり、地球の姿を表現した科学者の知の結晶である。本展示では、最新の地質図をはじめ、岩石・鉱物・化石、高校生制作のデジタル作品などを用いて岐阜の大地の姿について広く紹介した。



展示室入口の様子

4 展示構成

(1) 日本の地質学と地質図

地質図をもとに、日本の地質学の歴史を紹介した。

【主な展示品】日本地質図(200万分の1)など

(2) 日本列島の成り立ち

地質図をもとに、日本列島の成り立ちを、日本各地から産出する岩石・鉱物などとともに紹介した。

【主な展示品】国内の地質構造体で産出する岩石や鉱物など

(3) 「岐阜県の大地の姿」

地質図とWeb版岐阜県地質図「ジオランド・岐阜」をもとに、大地の活動によって作られた岐阜の大地を県内産の岩石・鉱物標本とともに紹介した。

【主な展示品】岐阜県内でみられる岩石や鉱物、地質図や画像を使用した画像資料

(4) 大地とともに生きていた“生物”

岐阜県内で発見される代表的な化石を「福地」、「手

取」、「赤坂」、「瑞浪」の4つの地域とテーマで紹介した。

【主な展示資料】県内産出の化石

(5) 人々の生活と大地

生活と大地との関わりについて、自然災害(火山、地震、土砂災害)との関わりや、東濃陶土と美濃焼やセラミックスなどの産業や文化・学術などとの関わりを紹介した。

【主な展示資料】県内活火山模型、ハザードマップ、美濃焼の陶磁器、カミオカンデ資料など

5 関連事業

(1) 講演会 「地質図からわかる日本の地質 ～足下の数億年の歴史が私たちの生活を支える～」

講師 斎藤 真 氏
(産総研地質調査総合センター)

日時 7月15日(土)(13:30～15:00)

会場 岐阜県博物館 けんぱくホール

(2) 講演会 「岐阜の大地(ジオ)を生活の中で観る ～Web版岐阜県地質図『ジオランドぎふ』の紹介～」

講師 小井土 由光 氏
(岐阜大学 名誉教授)

日時 8月19日(土)(13:30～15:00)

会場 岐阜県博物館 けんぱくホール

(3) 現地観察会

① 学芸員と歩くふるさとの大地 「西濃編」

日時 5月28日(日)(9:30～15:30)

見学地 大垣市、海津市

② 学芸員と歩くふるさとの大地 「東濃編」

日時 10月10日(日)(9:30～15:30)

見学地 中津川市

(4) 学芸員によるギャラリートーク

日時 毎週日曜日(13:30～14:00)



展示解説の様子

特別展 壬申の乱の時代—美濃国・飛驒国の誕生に迫る

1 開催期間

平成29年9月15日(金)～平成29年11月19日(日)

2 主催・共催・後援

主催：岐阜県博物館 中日新聞

後援：NHK岐阜放送局 岐阜県教育委員会

3 趣旨

古代史上最大の内乱、壬申の乱(672年)において、大海人皇子の勝利には美濃の地と人は欠かせないものであった。一方、乱が起こった飛鳥時代は、律令国家の成立に向け時代が大きく変わる時でもある。美濃・飛驒地方の原形である「美濃国」・「飛驒国」が明確に姿を現すのはまさしくこの時代である。

本特別展では、美濃が大きな存在感を示した壬申の乱を紹介するとともに、「美濃国」・「飛驒国」の成り立ちを古墳時代から奈良時代にかけての県内を代表する遺跡の出土品などの関連資料をもとに探った。

4 展示構成

(1) 壬申の乱と美濃

壬申の乱を関係資料で紹介するとともに、乱の帰趨に大きく関わった美濃地方について、近年、調査された古墳時代から奈良時代の代表的な遺跡の出土品からその状況を探った。

壬申の乱については乱関係人物にちなんだ出土品などを中心に、古墳時代から奈良時代の美濃地方の状況については古墳や寺院跡の出土品を中心に展示した。

【主な展示資料】国宝 文祢麻呂墓出土品(複製含む 東京国立博物館) 国宝 平城宮跡出土木簡(奈良文化財研究所) 国重文 銅製舍利容器(個人蔵) 国史跡 昼飯大塚古墳出土品(大垣市教育委員会) 県重文 中八幡古墳出土品(池田町教育委員会) 梅替古墳出土品(県文化財保護センター) 川合遺跡群出土品(可児市教育委員会) 国史跡 弥勒寺官衙遺跡群出土品(関市教育委員会) 山田寺跡出土品(各務原市教育委員会) など

(2) 律令国家の成立と美濃国・飛驒国

飛鳥時代後半から奈良時代初めを対象に、県内で見つかった官衙遺跡や、美濃国・飛驒国と当時の都の飛鳥藤原・平城京等との交流の様子を関連資料からみた。

近年、発掘調査が進んだ県内の官衙遺跡や都からの出土品を展示した。また、飛驒国の成立や特色について、飛驒地方の古墳・寺院跡の出土

品を中心に紹介した

【主な展示資料】国重文 美濃国刻印須恵器(岐阜市歴史博物館) 大宝二年御野国加毛郡半布里戸籍(複製 富加町教育委員会) 国史跡 飛鳥池工房遺跡出土品(奈良文化財研究所) 静岡県指定文化財 伊場遺跡出土品(浜松市博物館) 国史跡 美濃国府跡出土品(垂井町教育委員会) 広畑野口遺跡出土品(県文化財保護センター) 県史跡 杉崎廃寺跡、上町遺跡出土品(飛驒市教育委員会) 県史跡 不破関跡出土品(関ヶ原町教育委員会) など



展示風景

5 関連事業

講演会1 10月8日(日)

「美濃の木簡 ～古代史の新たな解明～」

講師：市 大樹氏(大阪大学)

講演会2 10月22日(日)

「美濃・飛驒の古墳の終末、そして寺院・官衙へ～」

講師：長瀬治義氏(可児市教育委員会)

田中弘志氏(関市教育委員会)

横幕大祐氏(池田町教育委員会)

牛丸岳彦氏(高山市教育委員会)

博物館講座1 9月23日(祝・土)

「古代寺院からみた飛驒国」

講師：三好清超氏(飛驒市教育委員会)

博物館講座2 11月11日(土)

「入門 岐阜県の古代史 ～美濃国・飛驒国ができたころ～」

講師：近藤大典(当館学芸員)

関連事業のない日曜日

学芸員によるギャラリートーク

企画展 命輝く清流長良川 ～清流とともに移りゆく植物～

1 開催期間

平成29年11月25日(土)～平成30年2月25日(日)

2 主催

岐阜県博物館

3 趣旨

全長 166 km、その流域 86 万人の暮らしを支える長良川。標高 1,709mの大日ヶ岳にある源流から海拔 0 mの河口までのなかで移り変わる自然に、命の輝きを見出す旅をする企画展である。

高度差が大きく、流域面積の大きい長良川では、それぞれの地域で魅せる自然は異なる。標高が高く日本海側に近い上流域、人や里山とのかわりが深くなる中流域、広大な濃尾平野の中心で海に近い下流域。それぞれ特異な環境に適応する植物の命の輝きを実感できるようにした。

企画展では、長期にわたる調査で集めた県内だけで9万点を超える植物標本の中から、長良川流域に特徴的なものを紹介するとともに、その姿をとらえたレプリカ、きめ細かなからだのつくりを実感できる植物画、色鮮やかな花の様子を知ることができる写真などを展示し、命の輝きを伝える。また、植物だけでなく当館所有のはく製も加えて展示し、展示室の中に豊かな生態系を感じる空間とした。

4 展示構成

(1) 命輝く上流域の自然

流域 86 万人に豊かな水資源を供給する長良川。その源流付近には、保水力がきわめて高いブナ林が広く分布している。また、ひるがのには、もはや戦前と比べ 1 割程度となってしまった貴重な湿原が広がっており、貴重な植物が命を輝かせている。

スミレは岐阜県全域に分布しており、種類数も豊富である。流域ごとの代表的なスミレを紹介した。

【主な展示資料】

ブナ、ミズバショウ、ワタスゲなどの標本や植

物画、写真、オオジシギのはく製、ツキノワグマのはく製など、ミヤマスミレやオオバクスミレなどの植物画とともにレプリカ、標本、写真

(2) 命輝く中流域の自然

普段は清らかな流れである長良川も、大雨や台風によって増水して様相を劇的に変える。そんな過酷な環境下でも生き抜く植物たちがいる。その命の輝きの秘密を紹介した。また、長良川は周辺の里山と密接な関係をもっている。その里山で命を輝かせている植物を紹介した。

【主な展示資料】

サツキやセンボンギクのレプリカ、カタクリやホオノキの花のレプリカ、キタヤマオウレンなどの標本や植物画

(3) 命輝く下流域の自然

広大な濃尾平野の中心を流れる長良川周辺の代表的な水生植物や希少種を紹介する。水生植物の役割や、希少生物の現状を知ることができるようにした。

【主な展示資料】

ヨシやガマなどの標本、オニバスのレプリカ、植物画、標本、など

(4) みてさわって感じる自然

箱から取り出したどんぐりの正体を当てるクイズや実際にさわって考える実と種のクイズを位置づけた。また鳥の鳴き声を聞いたり、イノシシのはく製にさわることができるようにした。

5 関連事業

(1) けんぱく教室「金華山のいきものたちと出会う登山」

日時：平成29年12月10日(日) 10:00～12:00

場所：岐阜公園、金華山

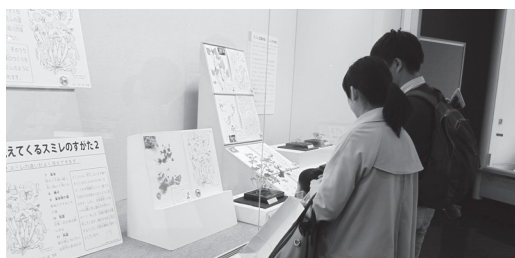
講師：当館学芸員

(2) 学芸講座「えっ！違うの？思い込みの植物たち～生物多様性と保全～」

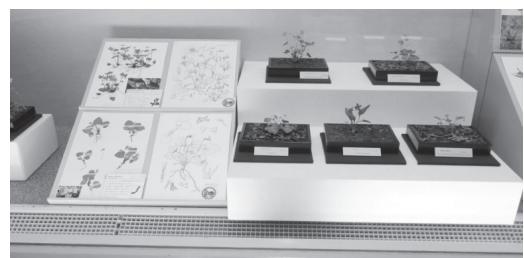
日時：平成30年2月24日(土) 13:30～15:00

場所：けんぱくホール

講師：当館学芸員



展示風景 1



展示風景 2

博物館・図書館連携企画展

「東西激突！ The 関ヶ原 ～関ヶ原合戦と岐阜城合戦～」

1 開催期間

平成29年7月21日(金)～9月18日(月・祝)(50日間)

2 主催・共催

岐阜県博物館

3 趣旨

今年度より「博物館機能の全県展開」として、博物館の魅力を広く発信しており、その取組みの一つとして、関ヶ原をテーマとした企画展を県図書館と連携して開催した。

慶長5年(1600年)美濃・関ヶ原で繰り広げられた天下分け目の戦い「関ヶ原合戦」、合戦自体はわずか一日で決着がついたが、その後200年以上に及ぶ日本の国制を決定づけた大一番であった。

この戦いにおいて美濃の地が果たした役割を、その前哨戦として重要な位置を占める岐阜城合戦(城主織田秀信)を含め考察するとともに、この合戦が岐阜の人々にいかに語り継がれたかを、各地に伝わる資料により紹介した。

4 展示構成

(1) 関ヶ原への道 ～岐阜城合戦～

関ヶ原合戦に至る道のりの中で、その前哨戦としての岐阜城(城主織田秀信)をめぐる戦いを軸に、美濃の役割にスポットを当てる。

<展示資料>

- ・関ヶ原合戦図(県図書館蔵)
- ・織田秀信関連資料パネル(肖像画・兜・禁制/円徳寺・パネル)
- ・岐阜落城記(県図書館蔵)

(2) 天下分け目・関ヶ原の戦い

関ヶ原合戦の戦いと、美濃との関わりについて、美濃ゆかりの武将に関わる資料や、在地に伝わる古文書などから跡付ける。

<展示資料>

- ・関ヶ原合戦図屏風(関ヶ原町歴史民俗資料館蔵)
- ・西軍禁制(石田・小西・島津・宇喜多連署禁制写/西園寺蔵・パネル)
- ・織田秀信禁制(養教寺蔵・パネル)
- ・小早川秀秋書状(大阪城天守閣蔵・パネル)
- ・小早川秀秋陣羽織(複製・関ヶ原町歴史)

- ・稲葉正成画像(岐阜県博物館)
- ・本多忠勝甲冑(複製・関ヶ原歴史)
- ・家康朱印状(複製・関ヶ原歴史) 小西召取感状
- ・乱髪天衝脇立兜(複製・関ヶ原歴史)
- ・大黒頭巾形兜(複製・関ヶ原歴史)

(3) 合戦を語り継ぐ

関ヶ原の戦いは、合戦に参加した武士だけではなく多くの人々が接点をもった。戦いと女性との関わりをはじめ、戦いがいかに伝えられていったのか、江戸時代に作成された写本や版本から読み解く。

<展示資料>

- ・おあむ物語(岐阜県博物館)
- ・関ヶ原合戦集記(岐阜県図書館)
- ・慶長5年桔梗軍談(岐阜県図書館)
- ・参考関ヶ原軍記(岐阜県図書館)

5 関連事業

(1) 講演会「関ヶ原合戦をめぐる諸問題」

関ヶ原町歴史民俗資料館 草野 道雄 氏
県博物館担当学芸員

平成29年7月23日(日) 13:30～15:00

岐阜県図書館多目的小ホール

(2) 関ヶ原合戦子ども学会 (3回連続開催)

平成29年7月29日(土)

8月5日(土)

8月26日(土)

(3) 展示解説(担当学芸員が見どころを解説)

平成29年7月23日(日) 15:30～

7月29日(土) 13:30～

移動展 見つめる目 写真家の見た飛騨美濃

細江光洋の飛騨・増山たづ子の徳山・後藤英夫の円空

1 開催期間

平成29年7月21日(金)～平成29年9月18日(月・祝)

2 主催・共催

主催 岐阜県博物館、共催 高山市教育委員会

3 趣旨

昭和半ばから平成までの飛騨を地元住民の目線で撮り続けた細江光洋、ダムに全村水没する故郷を出征して帰らぬままの夫に見せるために撮影記録した増山たづ子、そして、陰影の強い独特なモノクロの円空仏写真で知られた後藤英夫。郷土を代表する3人の写真家の写真で岐阜県の文化と風土を紹介する写真展を開催した。



展示会場の様子

4 展示構成

(1) 細江光洋(ほそえ・こうよう)

(1920 高山市～2003 高山市)

高山市生まれ。旧制大垣中学(現・大垣北高校)卒業後、新聞記者となる。昭和28年(1953)写真館経営の傍ら、飛騨の風物を撮影した。日展と国際写真サロンを活動の場とし、全日本写真連盟(全日写連)中部本部参与などとして活躍。

高山の観光ポスターに作品を提供し、昭和の旅行ブームで大きな足跡を残した。共著に『飛騨風土と民俗』(荒垣秀雄、1964年、朝日新聞社)、『カラー飛騨路の魅力』(伊藤ていじ、1978年、淡交社)、『飛騨路の四季』(早船ちよ、1979年、朝日新聞社)、著書に岩波写真文庫『飛騨・高山』(1953年・1988復刻、岩波書店)、『世界遺産白川郷』(1996年、郷土出版社)などがあり、作品の集大成として『細江光洋写真全集』3巻(1993-94年、郷土出版社)を自ら編集した。

個展に「内なるひだとびだびと 細江光洋写真展」(2001年、飛騨・世界生活文化センター)、「没後10年 飛騨の写真家 細江光洋」(2013年、岐阜県美術館)。

(2) 増山たづ子(ますやま・たづこ)

(1917 徳山村～2006 岐阜市)

徳山村生まれ。徳山村尋常小学校戸入分校卒業。昭和11年(1936)同村の増山徳治郎と結婚。16年(1941)11月に徳治郎が徴兵、インパール作戦(インド、1944年3～7月)参加後、20年(1945)

5月に行方不明となる。戦後、農業の傍ら民宿を営む。52年(1977)ダムで水没する村の撮影を開始。60年(1985)7月に離村。ピッカリコニカと首に巻いた青いタオルがトレードマークの「カメラばあちゃん」として知られた。遺作展「増山たづ子すべて写真になる日まで」(2014年、静岡県・IZU PHOTO MUSEUM)で全国的な注目を集めている。

昭和59年(1984)エイボン功績賞、62年(1987)岐阜日日新聞大賞特別賞受賞。

著書に『故郷 私の徳山村写真日記』(1983年、じゃこめてい出版)、『ふるさとの転居通知』(1985年、情報センター出版局)、『ありがとう徳山村』(1987年、影書房)、『増山たづ子徳山村写真全記録』(1997年、影書房)など、共著に『まっ黒けの話 徳山村の民話』(鈴木暹、1993年、影書房)など。

(3) 後藤英夫(ごとう・ひでお)

(1910 関市～1999 関市)

関市の老舗刃物商の家に生まれる。家業を継がず、写真館を経営する傍ら、昭和34年(1959)初めて撮影して以降ライフワークとなる円空仏を撮影。自身の写真集のほか、研究者との共著として円空研究書を多数世に出している。強弱をつけた照明で劇的な陰影を施した階調の美しいモノクローム写真は広く知られ、円空仏ブームにおけるイメージ普及に大きな役割を果たした。

共著に『円空・人と作品』(1961年、三彩社)、『円空仏・境涯と作品』(1968年、淡交社)、『円空』(1980年、小学館)、『円空巡礼』(1986年、新潮社)があり、特に「とんぼの本」シリーズの一環として刊行された『円空巡礼』は多くの人に読まれた。写真集に『円空さんとわたし』(1995年、岐阜県博物館友の会)がある。

5 関連事業

(1) ギャラリートーク

日時 7月22日(土) 13:30～14:00

会場 飛騨高山まちの博物館 特別展示室

(2) 出張けんぱく教室「和綴じ本」

日時 8月11日(金・祝) 13:30～15:00

会場 飛騨高山まちの博物館 1階・研修室



ワークショップの様子

マイミュージアムギャラリー

1 展示内容

	展 示 会	展 示 内 容	
1	<p>日本刀押形展 ～幽玄美へのいざない～ 出展者 日本美術刀剣保存協会 岐阜県支部 平成 29 年 4 月 22 日 (土) ～ 6 月 18 日 (日) 来場者数 : 8,115 人</p>	<p>日本美術刀剣保存協会 岐阜県支部の創立 60 周年記念の展示。岐阜県支部長の近藤氏が採拓した刀剣の押形約 40 点とその対象となった刀剣 10 振りを展示した。あわせて、最古の刀剣押形『往昔抄 (復刻)』などの関連資料を展示した。</p>	
2	<p>太古の海から氷河期の森まで 4 億年 ～新川コレクション 美濃飛騨 とその周辺の化石・鉱物展～ 出展者 新川 教 (岐阜市) 平成 29 年 7 月 1 日 (土) ～ 8 月 27 日 (日) 来場者数 : 6,613 人</p>	<p>岐阜市在住の新川氏が収集した大垣市赤坂金生山や飛騨市福地温泉郷、瑞浪市など岐阜県内やその周辺の地域から産出した化石約 300 点を古生代から新生代にかけて地質年代順に展示した。その他に方解石など岐阜県内で産出した鉱物約 100 点もあわせて展示した。</p>	
3	<p>熱虫! 昭和アニメ・漫画コレクション ～大切なものは変わらない～ 出展者 塚本咲子 (多治見市) 林 真司 (犬山市) 平成 29 年 9 月 9 日 (土) ～ 10 月 29 日 (日) 来場者数 : 7,022 人</p>	<p>多治見市在住の塚本氏と犬山市在住の林氏が収集してきた膨大なコレクションの中から、本や文房具、ゲーム、服、靴、カバンなど虫プロ時代の手塚治虫グッズ約 2,000 点を展示した。</p>	
4	<p>《齋藤美術館 移動展》 郡上ゆかりの 茶道具コレクション 出展者 齋藤美術館 (郡上市) 平成 29 年 11 月 11 日 (土) ～ 12 月 28 日 (日) 来場者数 : 3,197 人</p>	<p>郡上市の齋藤家が代々にわたり蒐集してきた美術工芸品を展示している齋藤美術館の移動展。楽茶碗や大徳寺高僧の墨蹟、茶入、茶杓、棗、懐石道具など茶道具を中心に約 60 点を展示した。</p>	
5	<p>ミニチュア古民家模型と建具展 ～神代杉を使った芸術作品～ 出展者 肥田 光男 (可児市) 平成 30 年 2 月 3 日 (土) ～ 3 月 21 日 (日) 来場者数 : 4,356 人</p>	<p>可児市在住の肥田氏が建具職人の技術を活かして制作した神代杉を使った古民家模型 24 点、行灯 13 点、花器 18 点、御所車 5 点を展示した。その他に実際に住宅で使用されている建具・衝立もあわせて 8 点を展示した。</p>	

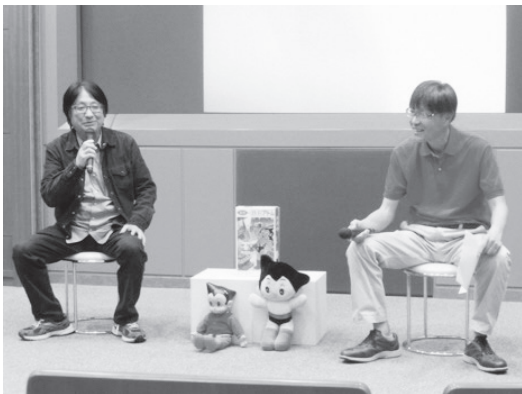
2 出展者による実演等の開催

観覧者と出展者、あるいは観覧者同士の情報交流やふれあいの場として、また体験を通して展示内容についての理解を深めてもらうために、展示期間中には出展者が主催者となった催し物を開催した。

(1) 第3回展示「熱虫！昭和アニメ・漫画コレクション ～大切なものは変わらない～」

講座 「集める楽しみ 熱虫！コレクションを語る」
日時 平成29年10月14日（土） 13:30～15:00
講師 林 真司・小池 信純
会場 けんぱくホール

出展者の林氏がコレクションをはじめた動機やコレクションの保管方法、さらには虫プロダクション時代の本やグッズ、関連商品などの資料をもとに昭和30～40年代の世相について講演した。後半は、熱中凝歴人（これくたー）倶楽部代表で鉄腕アトムコレクターの小池氏も加わり、自身のコレクションやコレクションをする上での悩みなどについて対談した。



(2) 第5回展示「ミニチュア古民家模型と建具展 ～神代杉を使った芸術作品～」

講座 「組み子細工体験」
日時 平成30年3月4日（日）・18日（日）
13:00～14:00 14:30～15:30
講師 肥田 光男
会場 マイミュージアムギャラリー前



これらの講座の他にも、展示期間中には出展者によるギャラリートークが行われた。

(3) 第2回展示「太古の海から氷河期の森まで 4億年」 ナイトミュージアムでのギャラリートークと光る岩石・鉱物の紹介

3 U-18ミュージアム

マイミュージアムギャラリーでは、平成27年度から高校生を対象にした展覧会「U-18ミュージアム」を開催している。今年度は、岐阜各務野高校と岐阜総合学園高校による合同展示を行った。

U-18ミュージアム

b y 岐阜各務野高校・岐阜総合学園高校 ～高校生によるデジタルアート展～

期間 平成30年1月13日（水）～1月26日（金）
出展者 岐阜各務野高等学校情報科・

岐阜総合学園高校マルチメディア部

岐阜県立岐阜各務野高校は、情報科の生徒が制作したプロジェクターで投影した街並みを車が走るデジタルジオラマや、特別展「生きている大地」で制作したプレゼンテーションソフト「Prezi」を使用して岐阜の地質図を紹介するデジタル作品を展示した。岐阜県立岐阜総合学園高校は、マルチメディア部の生徒が制作した美濃和紙あかりを使用したあかりアート作品や、レーザーカッターで加工した椅子、各種コンクールに入賞したポスターなど各種デジタルアート作品を展示した。また、両校が共同制作したデジタル作品として、博物館の外観模型にプロジェクションマッピングの技術を用いて映像を投影する作品もあわせて展示した。



4 本館展示・大型商業施設との連携

第2回展示「太古の海から氷河期の森まで 4億年」では、特別展「生きている大地」との関連性が大きいことから特別展とマイミュージアムギャラリー展示を相互に観覧できるような導線の確保や広報を行った。

また、第3回展示「熱虫！昭和アニメ・漫画コレクション」では、マーサ21内の丸善書店で新たに「手塚治虫書店」が開設されたことから、スタンプラリーを開催し相互の誘客を図った。

6 調査研究活動

〔調査研究〕

(1) 人文部門

①考古分野

ア 企画展にかかわる調査研究など

特別展「壬申の乱の時代—美濃国・飛騨国の誕生に迫る」にむけて、調査研究を行い、その成果を図録や展示パネルなどとして示した。

けんぱく・関市連携企画展示「歴史育む清流長良川～弥勒寺史跡公園を歩く～」にむけて、資料調査等を行った。

閉村 30 年を迎えた旧徳山村の遺跡について、弥生時代及び奈良・平安時代の資料を調査し、ミニ企画展「閉村 30 年 徳山の遺跡 ～弥生時代」、閉村 30 年 徳山の遺跡 ～奈良・平安時代～」として展示した。

人文展示室常設展の一部変更、縄文土器コーナーの縮小及び弥生土器コーナーの拡大にむけて、資料調査を行った。

平成 30 年度以降の展示に向けて関連資料の調査を行い、今後の調査研究の方向性を検討した。

イ その他

博物館学芸講座「入門 岐阜県の古代史 ～美濃国・飛騨国ができたころ～」に向けた調査研究を行った。

②歴史分野

ア 展示にかかわる調査研究

平成 30 年度秋季特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家—大御乳・池田恒興・輝政の戦い—」の開催準備のため東京大学史料編纂所、大阪歴史博物館、鳥取県立博物館、岡山県立博物館、林原美術館等資料調査、出品交渉を行い、国宝・重要文化財を含む資料展示に向けた道筋をつけることができた。

イ 館蔵資料などにかかわる調査・研究

指定文化財の公開を行なうとともに、公開講座・出前講座の実施等にもない、館蔵の古文書や県内所在の古文書等の調査研究を進めた。

ウ その他

県の施策と関連して、関ヶ原ビジターセンターWGに参加するとともに、施設プラン設計に関して文化庁協議に関与した他、同町教育委員会主催事業（講座講演会・現地講座）への協力といった連携を深めた。

③民俗分野

ア 常設展にかかわる調査研究

本年度は複数のミニ企画展示を実施した。

(1) 特集展示「いとしのひょうたん」（平成 29 年 4 月 11 日～6 月 18 日）

養老改元 1300 年祭・第 41 回全日本愛瓢会総会協賛として実施。2017 年は養老改元（717）から 1300 年のメモリアルイヤーで、養老町では「養老改元 1300 年祭」の記念祝典や、県内初の開催となる全日本愛瓢会総会・展示会など、さまざまなイベントが行われた。それらの協賛として企画した瓢箪にまつわる展示。

瓢箪は中空となる独特の形状から、古来、世界中で

容器や楽器など、多彩な用途に使用されるとともに、栽培が容易で、変種が作りやすいことから、ユニークな姿かたち自体を愛でられてきた。美しい鑑賞用瓢箪のほか、瓢箪を使用した楽器（インドのヴィーナ、アフリカのバラフォン）、さまざまな道具（メキシコの容器）、瓢箪の形を取り入れた茶道具などを紹介した。

(2) 中濃地域連携企画・ミニ企画展示「郡上竿と美濃和紙」（平成 29 年 9 月 12 日～11 月 5 日）

地域連携・協賛事業として中濃地域 3 市の特集展示を、関市（刀剣）・美濃市（和紙）・郡上市（和竿）の中濃三市展示の一環として展示したものの。

当館が立地する中濃地域を流れる清流長良川は、豊かな水産資源の源であるだけでなく、生活・水環境・漁業資源が連関する里川のシステム「長良川システム」として世界農業遺産「清流長良川の鮎」に認定されている。美濃市周辺の和紙生産と岐阜市の紙製品の例に見るように、長良川はまた、上流の物産を下流へと運ぶ産業の動脈でもあった。

今回の展示では、中濃の優れた漁業文化の中から、鮎釣り、溪流釣りの名品として根強いファンを持つ郡上竿・郡上魚籠を、ユネスコ無形文化遺産として世界に知られるようになった本美濃紙と美濃和紙を取り上げ、製紙用具や県産業技術センター紙業部の所蔵品を紹介した。

(3) 寿福滋写真展「杉原千畝と命のビザ シベリアを越えて」（平成 29 年 12 月 26 日～30 年 3 月 18 日）

写真家の寿福滋氏、大正出版株式会社のご協力で、杉原千畝（すぎはら・ちうね、明治 33・1900～昭和 61・1986）に関する写真展を実施した。千畝は第二次世界大戦中の昭和 15 年（1940）、リトアニア・カウナス領事館で、ナチス・ドイツの迫害から逃れるため、ユダヤ難民にビザ（通過査証）を発給し、約 6,000 人を救ったことから「東洋のシンドラー」とも呼ばれている。

文化財専門の写真家として活躍されている寿福滋（1953-）氏は 1994 年に初めてアウシュビッツを訪れて杉原の「命のビザ」を知り、ヨーロッパを脱出したユダヤ難民の旅路をたどる撮影行をライフワークとされている。展示では、そのシリーズから抜粋した作品群と氏のエッセイを組み合わせたタペストリーで杉原の業績を振り返った。

(4) 旧徳山村民家（旧宮川家住宅）

大風による大棟の部材脱落が発生したため、茅材による修繕を実施した。また、国の登録有形文化財の申請を行った。

イ 特別展にかかわる調査研究

次年度開催の特別企画展「兼定 刀都・関の名工」の準備を実施した。古くから刃物産地として知られ、中世以来、多くの刀鍛冶が活躍してきた関で、名工として知られる和泉守兼定（兼定・ノサダ）や幕末・明治時代に活躍した会津兼定十一代をはじめとする兼定銘の刀剣多数を出展予定である。

ウ 教育普及事業

恒例の「正月遊びをしよう」において、本年もサポーターの提供によりメニューを拡充できた（缶ぼっくり、知恵の輪を追加）。

④美術工芸分野

ア 岐阜県博物館・岐阜県図書館連携企画展「歌川国芳 木曾街道六十九次」にかかわる調査研究

平成 30 年度開催の標記展覧会に向けて調査研究を行った。作品実査、写真観察、文献渉猟などを実施した。次年度も継続し、会場内解説パネルを執筆・編集して展示する予定である。

イ 常設展にかかわる調査研究

収蔵資料や地域の文化財については常に継続して調査研究を行っている。その成果を披露する場として常設展がある。常設展の中にコーナーを特別に設けて行ったテーマ展示は、平成 29 年度は次のとおりである。

- ・成木一成作の鏝
- ・濟法寺の仏像
- ・桜が描かれた絵画
- ・特集展示「尾張三作の刀剣―飛騨守氏房・伯耆守信高・相模守政常―」
- ・関市刃物まつり協賛展示「関鍛冶が作った刀剣」（博物館中濃地域連携企画展）
- ・日竜峯寺多宝塔壁画彩色模写
- ・国重要無形文化財保持者（人間国宝）のやきもの
- ・飛騨を描いた錦絵
- ・ミニ企画展示「鏝工・成木一成のチャレンジ」

特集展示「尾張三作の刀剣―飛騨守氏房・伯耆守信高・相模守政常」では井戸誠嗣氏（関伝日本刀鍛錬技術保存会会長）による日本刀鑑賞講座を開催した。また、関市刃物まつり協賛展示「関鍛冶が作った刀剣」は、第 50 回という節目を迎えた関市刃物まつりに協賛したものである。そして、関市重要文化財だった臨川寺所蔵の木造釈迦如来坐像が岐阜県重要文化財に指定されたタイミングで、本像の展示を実施した。

ウ 『収蔵品選集』発行にかかわる調査研究

常に継続して収蔵資料の調査研究を行っている。その成果が今年度に発行された『収蔵品選集』の解説に活用されている。掲載資料は総数 366 件で、このうち美術工芸分野は 212 件である。

エ 高山陣屋展示複製品製作にかかわる調査研究

当館が所蔵する資料の複製を製作し、高山陣屋で展示することになった。製作を委託するに当たり、改めて対象となる作品を精細に観察することとなった。製作受託者や高山陣屋に説明をできるようにしたとともに、その成果の一部を常設展のテーマ展示「飛騨を描いた錦絵」に生かした。

オ 岐阜県の宗教彫刻にかかわる調査研究

外部の機関や所蔵者から宗教彫刻に関する依頼・相談等が寄せられることがある。これらを引き受けて行う調査研究活動は、岐阜県博物館が外部と連携・協働しながら行う社会活動と位置付けてよい。ただし公共に益することがない、個人の財産査定等は引き受けない。

平成 29 年度も依頼・相談等に応じる機会があった。これらは県内の文化財について知見を得る絶好の機会であり、当館にとっても有益である。今後も県内の宗教彫刻の状況を把握し、調査研究や文化財保護活動などに資するよう努めたい。

⑤博物館全県域展開構想事業

博物館の収蔵資料や調査研究を広く県民に紹介するため、「来館を待つ」姿勢から、積極的に外へ「打って出る」姿勢へと転換し、県有施設等を活用した展示活動・支援を実施した。具体的には、中濃地域の岐阜県博物館本体のほか、岐阜地域は県図書館、飛騨地域は高山陣屋での博物館資料の展示支援を行うため、平成 29 年度に県図書館の企画展示室整備支援と高山陣屋の資料整備支援を行った。また、西濃地域は関ヶ原古戦場ビジターセンター（仮称：平成 32 年度開館予定）での展示支援を行っており、東濃地域はリニア岐阜駅関連施設（平成 39 年度整備予定）での展開支援を想定している。

(2) 自然部門

①動物分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) 里地里山に生息する動物の生態について
- (イ) 戦前の鳥獣採集家及び博物学標本商について

イ 原著論文等

説田健一，中尾喜代美．2017. 石河熙香が比律賓ダバオで採集した鱧の剥製について．生物学史研究 96: 53-57.

説田健一，松田道一，加藤利行．2018. 関市小屋名で発見されたアトラスオオカブト *Chalcosoma atlas* (Linnaeus) について．岐阜県博物館調査研究報告 38:55-56.

辻ノ上辰彦・神山恵理奈・説田健一．2018. 岐阜市宇佐南地内で発見されたアカカミアリ *Solenopsis geminata* Fabricius (Hymenoptera: Formicidae) について．岐阜県博物館調査研究報告 38:47-54.

遠藤弘志，笠井初志，宮崎弘規，大和田守，説田健一．2018. 高山市奥飛騨温泉郷神坂右俣谷・左俣谷の蛾類．岐阜県博物館調査研究報告 38:3-45.

ウ 学会発表など

説田健一．2017. 岐阜県内の高等学校に保管されていた剥製標本について，日本鳥学会 2017 年度大会，つくば，2017/9.

説田健一．2017. 日本の博物標本販売業の成立と業務形態，第 21 回科学史西日本研究大会，大阪，2017/12.

説田健一．2018. 岐阜県百年公園，モニタリングサイト 1000 里地調査 10 年の成果～データでひも解く里山の変化と市民調査の可能性～，東京，2018/1.

エ 館内サークル活動の企画及び運営

- ・ダチョウ組（動物標本作製サークル）
- ・岐阜の魚研究会
- ・クモ研究会
- ・モニタリングサイト 1000 里地調査グループ
- ・昆虫標本整理グループの運営

オ 他団体との調査活動

- (ア) ウシモツゴを守る会（ウシモツゴの生息と保護にかかわる調査．岐阜県水産研究所、世界淡水魚園すいぞくかん アクア・トトぎふ、関市、美

濃市、NPO 法人ふるさと自然再生研究会と共同)

- (イ) 金華山えこねっと(金華山にかかわる市民科学についての調査及び普及活動。岐阜大学応用生物科学部寄附研究部門(鳥獣対策研究部門)などと共同)

② 植物分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) 里地里山に生育する植物の生態について
(イ) 岐阜県博物館と連携した教師教育プログラムの開発

イ 館内サークル活動の企画及び運営

- ・モニタリングサイト 1000 里地調査
- ・標本整理及び展示資料作成

ウ 他団体との調査活動

- (ア) 岐阜県植物誌調査会(県植物誌編纂関係調査、環境省レッドデータ調査)
(イ) 岐阜県植物研究会(岐阜県内の植物の調査)
(ウ) パターン把握を通して環境リテラシーを高める現職教員研修プログラムの作成を目指す会。科学研究費。(長良川の上流・中流・下流域の調査)
(エ) 岐阜大学(標本合同調査保管)
(オ) 金華山えこねっと(金華山にかかわる市民科学についての調査及び普及活動)

③ 地学分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) タイ国産恐竜足印化石の足跡学的研究
(イ) 福島県産恐竜足跡化石の足跡学的研究
(ウ) 岐阜県における手取層群の脊椎動物化石調査
(エ) 瑞浪層群の化石調査

イ 原著論文等

- Kozu, S.・Sardsud, A.・Saesaengseerung, D.・Pothichaiya, C.・Agematsu, S.・Sashida, K. 2017. Dinosaur Footprint Assemblage from the Lower Cretaceous, Khorat Group, northeastern Thailand. *Geoscience Frontiers*, 8, 1479-1493.
歌川史哲・指田勝男・上松佐知子・高津翔平. 2017. 千倉層群白浜層(上部鮮新統)野島崎礫岩部層の珪質岩小礫から産する三疊紀・ジュラ紀放射虫化石. *地質学雑誌*, 123, 969-976.

ウ 国際学会発表

- Kozu, S.・Sardsud, A.・Saesaengseerung, D.・Pothichaiya, C.・Agematsu, S.・Sashida, K. 2017. Dinosaur Footprint Assemblage and its Gregarious Behavior from the Lower Cretaceous Khok Kruat Formation, Khorat Group, Northeastern Thailand. *Society of Vertebrate Paleontology 77th Annual Meeting*, Calgary, B50, 2017/8.
Kozu, S.・Sardsud, A.・Saesaengseerung, D.・Pothichaiya, C.・Agematsu, S.・Sashida, K. 2017. Dinosaur Footprint Assemblage at the site Huai Dam Chum from the Lower Cretaceous Khok Kruat Formation, Khorat Group, Northeastern Thailand. *IGCP 608*, Jeju, 2017/8.

エ 国内学会発表

- 高津翔平・Sardsud, A.・Saesaengseerung, D.・Pothichaiya, C.・上松佐知子・指田勝男. タイ

国東部の足跡産地 Huai Dam Chum から産する恐竜足跡群～印跡動物オルニトミモサウルス類の可能性を探る～. *日本古生物学会第 167 回例会*, A08, 愛媛, 2018/2.

高津翔平・河部壮一郎・久保貴志・西谷徹・久保泰・宮田和周・藪田周平・服部創紀・酒井佑輔・松本正樹・東洋一. 岐阜県大白川地域の下部白亜系手取層群より産出した脊椎動物化石(予報). *日本古生物学会第 167 回例会*, P19, 愛媛, 2018/2.

オ 館内サークル活動の企画及び運営

- ・百年公園内に埋設された手取層群化石含有層の岩石の調査(サポーター活動)
- ・県内外産化石クリーニング作業

カ 他団体との調査活動

- (ア) 筑波大学との共同研究
(イ) タイ国鉱産資源局地質調査所(DMR: Department of Mineral Resources of Thailand)との共同研究
(ウ) 福井県立恐竜博物館との共同調査

(3) マイ・ミュージアム部門

マイ・ミュージアム部門では、マイミュージアムギャラリー展示に係る業務とマイ・ミュージアム業務から構成されている。

マイミュージアムギャラリー展示に係る事業は、マイ・ミュージアム棟 2 階の展示室にて「岐阜県に在住、在勤及びゆかりのある個人又は団体(法人等)」が長年にわたって、調査・研究・収集されている貴重なコレクションを、広く展示公開する業務である。

また、マイ・ミュージアム業務は、当館収蔵資料のデータベース構築に係る業務として収蔵品をはじめ有形・無形の文化資源等をデジタル化して保存等を行う業務(デジタルアーカイブ)及び、インターネット公開に係る業務、並びにハイビジョンホール活性化事業で構成されている。ハイビジョンホール活性化事業については、平成 26 年度から実施し成果を上げている。

①マイミュージアムギャラリーについて

ア 運営の概要

生涯学習時代、県民が個人的に調査、収集、研究した資料のコレクションや生涯学習の成果や作品には、大変すばらしいものが多数存在する。こうした背景から、県民独自のコレクションや生涯学習の発表の場として、マイミュージアムギャラリーが開設された。ここでは、県民相互が多様な文化情報の発信・授受を行うなどの多目的な活用も図られている。博物館では一定期間、展示を公開する場の提供と側面支援を行うことで各展示前に定める目標の達成を目指している。

展示計画は、出展申し込みのあった展示内容をもとに、マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の意見を参考にして次年度の展示会が決定される。なお、出展者の募集や出展調査は常時行っている。

今回のマイミュージアムギャラリー展示は、企画展との呼応を試行的に行い本館とマイ・ミュージアム棟との間に来館者の流動性を認めることができた。次年度は、企画展との連動性を高めた展示計画を行った。

イ マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の開催
 ・日時 平成 29 年 12 月 7 日（木） 13 時 30 分～ 15 時
 ・場所 本館会議室

ウ 展示記録「マイ・コレクション」(展示紹介チラシ)の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。これを展示会場内で観覧者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。平成 29 年度は 7 年度からの通番で、第 168 号から第 172 号までを発行した。チラシ等の配付における来館効果を母平均推定 95% 確率で統計学的に推定した結果、8.9% から 19.5% 内でチラシには来館誘導効果があることが分かっており、平成 29 年度も平成 25 年度と同様に「マイ・コレクション」を関係各所に配布し効果を得た。結果は展覧会の平均来館者数は昨年度の中央値（メジアン:Me）を上回る結果となった。

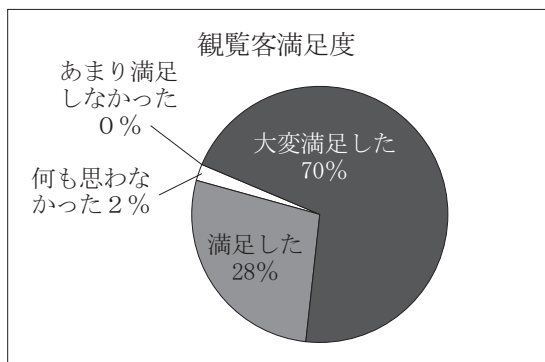
エ 博物館同人としての登録

平成 29 年度時点での同人登録者数は 115 名であり、往復ハガキなどを用いて、マイミュージアムギャラリーに関する意見や新規の出展者情報を収集している。その際に退会を希望される方を同時に調査している。

オ 観覧者、出展者への意識調査の実施と分析

観覧者にマイミュージアムギャラリー展示の満足度調査を行った。展示会終了後には、出展者にも満足度調査を行っている。調査結果については、分析と考察を行い、展示等の改善につなげている。

また、図 1 に示すように観覧者の満足度は高く、展示内容とともに効果的な展示を行えたものと考えている。また、マイミュージアムギャラリーの良さを問う項目では「観覧が無料であること」、「いろいろな作品が見られ、出展者との交流することにより趣味が深められた」に高い満足度を認めることができ、県民相互の文化情報の交流に寄与できたものと考えている。



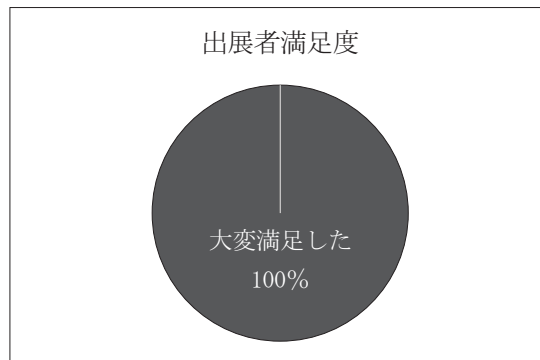
【図 1 観覧者の満足度(n=436:平成 29 年度 4 月～ 3 月)】

更に、図 2 から出展者の高い満足度を認めることができる。また、マイミュージアムギャラリーの存在価値を問う項目では、「価値有り」とした回答が多く高評価を得ることができた。

以上の結果から、マイミュージアムギャラリーの運営は、当初の目的を充足したものといえる。しかし、いずれも例年と同様の結果を得たにすぎず、更なる改善が必要であることが明らかとなった。

また、平成 24 年度に出展者支援及び観覧者の満足度向上のために、作品のキャプションや説明文の記述方法についての調査を行った。その結果を平成 29 年度も

展示会に活かしたところ、読み手の読解方略を体系的で利用しやすいキャプションで示すことができた。こういった研究も含め今後も出展者支援や観覧者の満足度向上に努めたい。



【図 2 出展者の満足度 (n=5 : 平成 29 年度)】

カ 平成 29 年度の出展申し込み

平成 30 年度出展候補としての平成 29 年 11 月までの申込は 14 件であった。申込みの内容は、コレクションと作品のバランスもよく、様々な年代の観覧者の興味・関心を喚起されることが期待できるものであった。

また、平成 27 年度から公共施設が行うマイミュージアムギャラリーへの移動博物館展示や高校生以下の部活動等による成果発表の場による U-18 ミュージアムを実施し、平成 29 年度においても好評をいただいた。

キ 平成 29 年度展示計画及び今後の課題

平成 30 年度出展候補 14 件についてマイミュージアムギャラリー展示計画懇話会にて会員から意見を聴き 6 件の展示を決定した。また、年間をとおしての展示内容のバランスや本館展示との連携を考えて、コレクションを中心とする出展希望の更なる充実を図ることが今後の課題である。

【マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の構成】

氏名	所属等
浅野 裕司	元岐阜県博物館長
岩井 弘栄	民間有識者
空 かなえ	関市教育委員会生涯学習課課長補佐
土屋 明之	岐阜県芸術文化会議会長
野口 美穂	民間有識者
若宮 多門	岐阜県博物館協会会長

(五十音順 敬称略)

②マイ・ミュージアムについて

マイ・ミュージアム棟が開設された平成 7 年頃はマルチメディアが珍しい時代であったが、現在は一般のパソコン上で動画を編集することさえ特別ではなくなり、マルチメディアの普及や啓発を継続する意義は薄れてきた。他方、昨今の財政難により、機器の更新はもちろん、老朽化した既設機器の維持管理が困難な状況となり、稼働している機器を休止せざるを得なくなった。

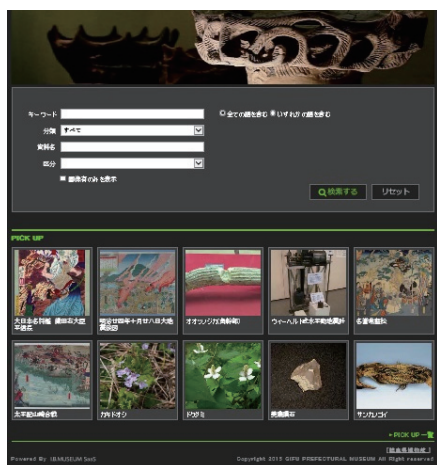
しかし、博物館事業において情報通信機器を活用する必要性が失われた訳ではなく、引き続き、情報化が不可欠な分野における機能低下を最小限に食い止め、制約がある中で情報を最大限発信できるよう、システム等の改善や整備に重点を置いた事業を推進する。

ア 収蔵資料データベースの運用

当館では、平成 21 年度末、全国の博物館や美術館でサーバを共有するサービス (SaaS) に当館に収蔵されているデータを移行する作業を実施した。そして平成 23 年度にサービス提供者と利用契約を結集し、インターネット公開を視野に入れた収蔵資料データベースの本格的な運用を開始した。また、風土記については、デジタルアーカイブ事業として平成 27 年度に静止画閲覧機能を有するシステムを完成した。来館者が利用できるように郷土学習室に PC を配備し来館者の利用に供している。

図書資料のデータベース化については、目標を前倒しにし、平成 24 年度にデータの移行を完了した。図書担当職員の業務効率の向上のための支援を行っている。

また、現物実査の成果をデータベースに登録し、データを精緻化したことで収蔵品を一元管理することが可能となった。備品登録と収蔵資料との整合性も担保された。学芸員間の研究に資する情報源として利用できるよう業務を進めている。その中で、平成 27 年度は収蔵品の中から研究者や一般の方の利用を想定した収蔵品データベースのホームページを作成し一部公開を行った。公開ページの中に「Pick Up」として当館学芸員の「お薦め資料」と銘打った資料データを公開し、閲覧された方々から高い評価をいただいている。現在 551 件程の特選収蔵品データとして公開している。研究者等にも利用しやすいものとするため、全件公開に向けてデータの精緻化を行っている。



【収蔵品データベースのホームページのトップページ】

イ けんぱくホールでの活用

けんぱくホールでは、外部団体の見学や各種講演会・講習会・イベントなどの会場として利用を図るとともに、平成 26 年度下半期から新たに立ち上げた事業として、「大人のための博物館講座」及び「ミュージアムシアター」を開始した。平成 28 年度からは講座名を「博物館学芸講座」と改名し県民等からの好評をいただいた。

③マイ・ミュージアム棟活性化事業について

平成 29 年度は、マイ・ミュージアム活性化事業として以下の 2 事業を重点的に行った。

ア 博物館学芸講座

イ ミュージアムシアター

ア)「博物館学芸講座」は、岐阜県博物館では、自然・歴史・文化等に対する知的好奇心を喚起し、文化振

興に寄与することを目的に専門的・学術的内容の講演会を実施した。

4月22日(土) 服部創紀(福井県立恐竜博物館 研究職員)
恐竜進化の足どり～足の形から探る鳥への進化史～

5月6日(土) 説田健一(当館学芸員)
たかが鰐～石河熙香がフィリピンで捕獲したシャムワニについて～

5月20日(土) 谷口央(首都大学東京 教授)
関ヶ原合戦と美濃

6月10日(土) 半田直人(大阪大学総合学術博物館 研究支援推進員)
岐阜県にいた絶滅哺乳類～カリコテリウム類の発見～

6月24日(土) 北川央(大阪城天守閣 館長)
関ヶ原合戦から大坂の陣へ

7月22日(土) 南本有紀(当館学芸員)
櫟文峰のスクラップ帳から～近代日本の「美人」ブーム～

9月2日(土) 内池英樹(岡山県立博物館 主幹)
新発見! 石谷家文書から探る本能寺の変

9月23日(土) 三好清超(飛騨市教育委員会 主査)
古代寺院からみた飛騨国

11月11日(土) 近藤大典(当館学芸員)
入門 岐阜県の古代史～美濃国・飛騨国ができたころ～

11月18日(土) 田中雅嗣
(東京都健康長寿医療センター 臨床検査科 部長)
ミトコンドリア遺伝子と長寿～オートファジーが長生きのカギ～

12月2日(土) 川上和人(森林総合研究所 主任研究員)
西之島 vs 鳥類～こうして島に生態系が生まれる～

12月16日(土) 阿部真之(大阪大学基礎工学研究科 附属極限科学センター教授)
針で原子を見て、識別して、動かす!～走査型プローブ顕微鏡～

平成 30 年 2 月 24 日(土) 可児美紀(当館学芸員)
えっ! 違うの? 思い込みの植物たち～生物多様性と保全～

3月11日(日) 植野哲也(林原美術館 主任学芸員)
備前伝と美濃伝 日本刀五ヶ伝について

イ)「けんぱくホール」は、毎週土・日曜日に岐阜県の歴史や伝統文化を紹介した作品や恐竜や自然保護等に関する作品など、優れた映像を上映し、青少年以上の年齢の来館者に郷土に対する理解や自然科学への関心を深め、その魅力を再認識いただく機会を提供することを目的に実施した。

また、祝日には、子ども(幼児・低学年)向けに「日本むかし話」と「世界名作童話」を上映し、子どもの情操教育に資するとともに親子の会話や団らんの素材としても活用いただけることを目的に実施した。

7 資料収集活動

(1) 収蔵資料数

① 人文分野 (平成30年3月31日現在) ② 自然分野 (平成30年3月31日現在)

分野	資料数(件)
考古	461
歴史	1,399
民俗	1,648
美術工芸	1,278
合計	4,786

分野	資料数(件)
動物	33,656
植物	90,127
岩石鉱物	2,054
化石	1,616
合計	127,453
総合計	132,239

(2) 平成29年度寄贈資料一覧

① 人文分野 (平成30年3月31日現在) ② 自然分野 (平成30年3月31日現在)

資料名	件数
なし	0

資料名	件数
剥製標本	63
サソリ	1
剥製標本	36
シロマダラ	1
ニホンザル	1
チュニジア産白雲母	1
チュニジア産砂漠の砂	2
県内産フズリナ化石	2
ウソシジミ化石岩塊	1
トゲアリ	10
剥製標本	25
アカショウビン	1
アオゲラ	1
チュニジア産砂漠のバラ	3
チュニジア産方解石	1
ビカリア化石	6
クジラ脊椎骨化石	1

(3) 平成29年度購入資料一覧

① 人文分野 (平成30年3月31日現在) ② 自然分野 (平成30年3月31日現在)

資料名	件数
灰吹銀御用箱 (複製)	1
飛騨国絵図 (複製)	1
諸国名所百景 飛騨箆わたし (複製)	1
大日本物産図会 飛州猪捕之図 (複製)	1
大日本物産図会 飛騨国養蚕之図二 (複製)	1
諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし (複製)	1
日本地誌略図会 籠渡之図 (複製)	1

資料名	件数
半剥製 (タイワンリス)	1
剥製 (人魚)	1

8 教育普及活動

(1) 教育普及活動

① 催しもの開催状況

催し物は、体験・鑑賞型の「けんぱく教室（子ども・家族向け）」「県博教室（大人向け）」、大人向けの各種講演会「特別展・企画展講演会」「マイミュージアムギャラリー展示関連講演会」「博物館学芸講座」「博

物館学芸講座特別企画」、三重県総合博物館（MieMu）との交流企画を、各係が担当して計64回を実施した。

三重県総合博物館（MieMu）との交流企画では、本年度も人文分野、自然分野それぞれ1名、計2名の講師を相互に派遣して講演会を開催するとともに、体験教室を各館で1回開催した。

<催しもの開催状況一覧>

事業名	期日	定員	参加	内 容
体験教室	4/ 9	20名	9名	百年公園で春を見つけよう
	5/ 3	120名	102名	竹で機関車笛をつくろう
	5/ 7	30名	34名	アンモナイトのひみつをさぐる
	5/20	100名	115名	スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ
	5/21	100名	140名	スプリングフェスティバル けんぱくワークショップ
	5/28	25名	25名	学芸員と歩くふるさとの大地 「西濃編」
	6/18	20名	17名	「和とじ」を使って昔のノートをつくろう
	7/29	25名	23名	恐竜を描こう
	7/30	40名	71名	ナイトミュージアム
	8/ 5	25名	30名	恐竜を造ろう
	8/11	20名	52名	「和とじ」を使って昔のノートをつくろう
	8/12	25名	18名	家族で昆虫標本をつくろう
	8/27	30名	27名	まゆ玉で「かわいい動物たち」をつくろう
	10/ 1	200名	194名	山県市ふるさと栗まつり 2017 けんぱくワークショップ
	10/15	25名	24名	学芸員と歩くふるさとの大地 「東濃編」
	10/21	100名	89名	オータムフェスティバル けんぱくワークショップ
	10/22	100名	中止	オータムフェスティバル けんぱくワークショップ
	10/29	80名	141名	モレラワークショップ
	11/ 3	なし	137名	岐阜-ふるさとを学ぶ日（無料開放日） けんぱくワークショップ
	11/ 3	なし	135名	三重県総合博物館（MieMu）交流企画 ワークショップ
	11/ 4	30組	67名	オータム・ナイトミュージアム
	11/12	30名	30名	大昔の人のくらしに挑戦しよう
	11/19	50名	62名	徳山のくらし体験 地獄うどんを食べよう
	11/23	40名	52名	岐阜県博物館交流企画 ワークショップ
	11/25	100名	408名	ぎふサイエンスフェスティバル2017 けんぱくワークショップ
	12/ 3	100名	122名	seki いきいきフェスタ けんぱくワークショップ
	12/ 9	60名	84名	モレラワークショップ
	12/10	20名	18名	金華山のいきものたちと出会う登山
	12/17	30名	27名	まが玉をつくろう
	12/23	30組	95名	クリスマス・ナイトミュージアム
1/ 7	なし	263名	ちょっと昔の正月遊びを体験しよう	
1/ 7	200名	263名	七草がゆを食べよう	
1/13	30名	12名	学芸員と学ぶ百年公園の冬鳥	
1/20	60名	99名	マーサ21ワークショップ	
2/17	60名	91名	モレラワークショップ	
2/24	100名	143名	ワークショップギャザリング vol. 3	
3/10	60名	107名	カラフルタウンワークショップ	
3/17	60名	113名	マーゴワークショップ	
講演会	4/22	120名	70名	博物館学芸講座「恐竜進化の足どり～足の形から探る鳥への進化史～」
	5/ 6	120名	30名	博物館学芸講座「たかが鱶-石河熙香がフィリピンで捕獲したシャムワニについて-」
	5/13	30名	27名	仏像講座①「仏像が移動する？-安置場所が変わることの意味-」
	5/20	120名	128名	博物館学芸講座特別企画「関ヶ原合戦と美濃」
	6/10	120名	61名	博物館学芸講座「岐阜県にいた絶滅哺乳類～カリコテリウム類の発見～」
	6/24	120名	121名	博物館学芸講座特別企画「関ヶ原合戦から大坂の陣へ」
	7/ 8	30名	24名	仏像講座②「仏像の基礎的研究とは？-関市・臨川寺の釈迦如来坐像を例に-」
	7/15	120名	115名	特別展講演会「地質図からわかる日本の地質～足下の数億年の歴史が私たちの生活を支える～」
	7/22	120名	30名	博物館学芸講座「樺文峰（あららぎぶんぼう）のスクラップ帳から -近代日本の「美人」ブーム-」
	8/19	120名	108名	特別展講演会「岐阜の大地を生活の中で観る～Web版岐阜県地質図「ジオランドぎふ」の紹介～」
	9/ 2	120名	137名	博物館学芸講座「新発見！石谷家文書から探る本能寺の変」
	9/ 3	120名	40名	三重県総合博物館（MieMu）交流企画「カモシカとそのなかまたち」
	9/ 9	20名	23名	日本刀鑑賞講座
9/23	120名	85名	博物館学芸講座「古代寺院からみた飛騨国」	
10/ 7	120名	117名	三重県総合博物館（MieMu）交流企画「壬申の乱と古代の伊勢国、そして斎宮」	

事業名	期 日	定 員	参 加	内 容
講 座 講 演 会	10/ 8	120 名	132 名	特別展講演会「美濃の木簡 ～古代史の新たな解明～」
	10/14	120 名	41 名	マイミュージアムギャラリー関連講演会「集める楽しみ 熱虫！コレクションを語る」
	10/22	120 名	84 名	研究者によるリレートーク 「美濃・飛騨の古墳の終末、そして寺院・官衙へ」
	10/28	30 名	27 名	古文書読解講座① 戦国大名の文書を読み解く
	11/11	120 名	124 名	博物館学芸講座 「入門 岐阜県の古代史 ～美濃国・飛騨国ができたころ～」
	11/18	120 名	62 名	博物館学芸講座特別企画「ミトコンドリア遺伝子と長寿 ～オートファジーが長生きのカギ～」
	12/ 2	120 名	92 名	博物館学芸講座特別企画「西之島 vs 鳥類 ～こうして島に生態系が生まれる～」
	12/ 9	30 名	30 名	古文書読解講座② 戦国大名の文書を読み解く
	12/16	120 名	68 名	博物館学芸講座特別企画「針で原子を見て、識別して、動かす！～走査型プローブ顕微鏡～」
	2/10	100 名	103 名	探求学習事例発表会・講演会・シンポジウム「博物館の利活用を考える」
	2/24	120 名	77 名	博物館学芸講座「えっ！違うの？思い込みの植物たち～生物多様性と保全～」
	3/11	120 名	93 名	博物館学芸講座「備前伝と美濃伝 日本刀五箇伝について」
		合 計	5,488 名	

② わくわく体験コーナー

わくわく体験コーナーは、日曜日午後を中心に開催している。今年度は、33 回開催し、1,670 人の参加者があった。体験メニューは、化石取り出し体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり、どんぐり標本箱づくりを定番とし、期間限定特別メニューとして「隕石さがし」「化石掘り出し体験」「水晶ジオード割り体験」を実施した。

<わくわく体験コーナー>

実施回数	参加人数	実施メニュー
33	1,670	化石取り出し体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり、どんぐり標本箱づくり、隕石さがし、化石掘り出し体験、水晶ジオード割り体験

③ 展示解説

常設展解説は、毎日午前 11 時と午後 2 時に解説員により行った。延べ 342 回、2,508 人の参加があった。テーマは「恐竜の話」、「合掌造りの話」、「鶉飼の話」、「輪中の話」、「大昔の人々のくらしの話」、「岐阜の大地の成り立ちの話」があり、毎日日替わりで実施した。特別展・企画展解説（ギャラリートーク）は、各展覧会開催中の日曜日の午後を中心に、担当学芸員が行った。延べ 37 回、801 人の参加があった。それぞれの展示物について、来館者の年代やニーズ等に合わせて分かりやすく解説した。

<展示解説>

	実施回数	参加人数	内 容
常設展	342	2,508	解説員による常設展示解説
特別展・企画展	37	801	担当学芸員による展示解説（ギャラリートーク）

④ 移動博物館・出張けんぱく教室

移動博物館・出張けんぱく教室は、①遠隔地の県民に県博物館の財産（展示・教育普及事業）を享受する機会を提供すること、②来館者を待つことから、資料や体験教室を持って外へ打って出ることへの転換をはかり、博物館への関心を今一度呼び戻す方途とすること、③子どもや若者が多く集う近隣市町村の民間商業施設やイベントにおいても開催することで、主として青少年等の若い世代に当館に対する関心を高めてもらう機会とすることを目的としている。なお、「移動博物館」とは、事業の実施主体は他施設であるが、展示資料のうち、当館の資料が半分以上で、当館の共催や協力で開催した展覧会と、教育普及的な展示に体験教室を組み合わせた自治体や団体が実施するイベントで、当館が共催・協力により実施するものこと。また、「出張けんぱく教室」とは、自治体や団体が実施するイベントで、当館が共催・協力により実施するものである。

<移動博物館>

※他館（他団体）が企画・運営主体の展覧会→◎、教育普及的色彩の濃い展示（+体験教室）→☆

	実施時期	内容	内 容	開催地	種別	参加人数 (人)
1	H29/7/22 ～ 9/15 (57 日間) ◎	展示	岐阜県博物館プロデュース「GIFUマスターシリーズ」 GIFU クイズラリー（自然科学分野）	モレラ岐阜	共催	測定不能
2	H29/9/16 ～ 11/17 (63 日間) ◎	展示	岐阜県博物館プロデュース「GIFUマスターシリーズ」 GIFU クイズラリー（自然科学分野）	モレラ岐阜	共催	測定不能
3	H29/10/26 ～ 12/27 (63 日間) ◎	展示	『マーサ de 博物館』 ～パネルミュージアム～	マーサ 2 1	共催	測定不能

	実施時期	内容	内 容	開催地	種別	参加人数 (人)
4	H29/10/28 ※モレラ岐阜ワークショップ ☆	展示	移動展示「県内産出の化石」	モレラ岐阜	共催	141
5	H29/11/18 ~ 1/12 (56 日間) ◎	展示	岐阜県博物館プロデュース「GIFUマスターシリーズ」 GIFU クイズラリー (人文及び自然領域)	モレラ岐阜	共催	測定不能
6	H29/12/1 ※第25回SEKIいきいきフェスタ 2017 ☆	展示	移動展示「県内産出の化石と植物標本」	関市わかくさプラザ	協力	405
7	H29/12/9 ※モレラ岐阜ワークショップ ☆	展示	移動展示「県内産出の化石」	モレラ岐阜	共催	84
8	H30/1/20 ※マーサ21ワークショップ ☆	展示	移動展示「県内産出の化石」	マーサ21	共催	99
9	H30/2/6 ~ 4/9 (60 日間) ◎	展示	『マーサ de 博物館』 ～パネルミュージアム～	マーサ21	共催	測定不能
10	H30/2/17 ※モレラ岐阜ワークショップ ☆	展示	移動展示「県内産出の化石」	モレラ岐阜	共催	81
11	H30/3/10 ※カラフルタウンワークショップ ☆	展示	移動展示「県内産出の化石」	カラフルタウン岐阜	共催	107
12	H30/3/17 ※マーゴワークショップ ☆	展示	移動展示「県内産出の化石」	サンサンシティ・マーゴ	共催	113
計						1,030

〈出張けんぱく教室〉

	実施時期	内容	内 容	開催地	種別	参加人数 (人)
1	H29/10/1 ※山県市ふるさと栗まつり	体験	化石取り出し体験	四国山香りの森公園	協力	194
2	H29/10/28 ※モレラ岐阜ワークショップ	体験	化石レプリカづくり	モレラ岐阜	共催	141
3	H29/11/25 ※ぎふサイエンスフェスティバル 2017	体験	化石レプリカづくり	岐阜市文化センター	協力	408
4	H29/12/1 ※第25回SEKIいきいきフェスタ 2017	体験	化石取り出し体験	関市わかくさプラザ	協力	122
5	H29/12/9 ※モレラ岐阜ワークショップ	体験	化石レプリカづくり	モレラ岐阜	共催	84
6	H30/1/20 ※マーサ21ワークショップ	体験	化石レプリカづくり	マーサ21	共催	99
7	H30/2/17 ※モレラ岐阜ワークショップ	体験	化石レプリカづくり	モレラ岐阜	共催	91
8	H30/2/24 ※GIFUワークショップギャザリング vol.3	体験	化石取り出し体験	岐阜清流文化プラザ	協力	143
9	H30/3/10 ※カラフルタウンワークショップ	体験	化石レプリカづくり	カラフルタウン岐阜	共催	107
10	H30/3/17 ※マーゴワークショップ	体験	化石レプリカづくり	サンサンシティ・マーゴ	共催	113
計						1,502

⑤ 団体利用

団体利用は、198 団体、10,644 人で次表のとおりである。美濃地区、岐阜地区、西濃地区、愛知県北部（一宮市、稲沢市、江南市）の小学校や、博物館近隣の幼稚園・保育園の利用が多い。

学習活動では、生活科との関連を図った「秋みつけ」や「秋のおもちゃづくり」などの体験活動を、百年公園内の自然も活用して実施した。

展示では、自然展示室1・2を活用したワークシートを主に実施した。また、人文展示室や合掌づくりの模型、昭和の居間を活用して、小学校社会科の学習「古い道具と昔の暮らし」に対応した解説も行った。

今年度も、「秋みつけ」「秋のおもちゃづくり」「昔の暮らし体験」などの体験活動において、博物館サポーターの協力を得ながら、活動の準備や片付け、子どもたちへの指導などの支援を行った。

<平成 29 年度 団体利用一覧>

月	日	曜	所在地	学校 団体	対象	人数	活動内容
4	5	水		(株) 国際交流サービス	一般	39	自由観覧
4	11	火		堂前フレンズ	一般	28	自由観覧
4	15	土		植物誌調査会	一般	20	標本整理
4	22	土	関市	岐阜県警察学校	初任科生	144	展示解説
4	25	土	海津市	岐阜県海津特別支援学校	中等部	22	自由観覧
5	2	火	愛知県(名古屋)	五条小学校	小2年	91	展示解説・展示セルフガイド
5	9	火	白川町	白川町立蘇原小学校4年生	小4年	23	展示解説・展示セルフガイド
5	11	木	関市	岐阜県博物館友の会	一般	21	施設利用
5	12	金	岐阜市	岐阜県教育委員会(岐阜県総合教育センター)	教員	7	博物館活用講座
5	18	木	関市	旭ヶ丘小学校	小4年	57	展示解説・展示セルフガイド
5	18	木	愛知県(日進)	日進市立日進中学校	中2年	239	自由観覧
5	19	金	岐阜市	芥見東小学校	小6年	75	学芸員による遺跡の話展示セルフガイド
5	21	日	岐阜市	岐阜保健短期大学	大学生	107	施設利用・自由見学
5	21	日	京都府	(株)KSAエンタープライズ	大学生	37	自由見学
5	23	火	愛知県(稲沢)	下津小学校	小3年	161	展示解説・洗濯体験・展示セルフガイド
5	23	火	愛知県(江南)	江南第二幼稚園	年長・保護者	271	自由観覧
5	24	水	愛知県(小牧)	本庄小学校	小5年	144	展示セルフガイド
5	24	水	愛知県(北名古屋)	師勝西小学校	小3年	103	展示解説・展示セルフガイド
5	24	水	愛知県(犬山)	犬山総合動物学院	高校生	53	展示解説・化石レプリカ作り
5	25	木	愛知県(稲沢)	六輪小学校	小2年	50	展示解説・展示セルフガイド
5	26	金	岐阜県	理科担当者会議	教員	50	施設利用
5	28	日	関市	岐阜県博物館協会	一般	32	施設利用
5	28	日	岐阜市	岐阜聖徳学園大学(川上研究室)	大学生	22	施設利用・自由観覧
5	30	火	関市	桜ヶ丘小学校	小2年	78	展示解説・展示セルフガイド・里山オリ
5	30	火	岐阜市	岐阜県小中学校教育研究会小学校社会科部会	教員	65	施設利用
5	31	水	関市	金竜小学校	小3年	123	里山オリエンテーリング
5	27	金	関市	桜ヶ丘小学校	小1年	77	展示解説・展示セルフガイド・春みつけ
6	1	木	岐阜市	環境厚生委員会	一般	20	展示解説・自由観覧・施設利用
6	6	火		長寿会	一般	22	自由観覧
6	8	木	美濃市	美濃ふたば幼稚園	年長	53	自由観覧
6	9	金	岐阜市	岐阜県高等学校地理歴史公民科担当者会議	教員	104	施設利用
6	9	金	美濃加茂市	古井第一幼稚園	年長	82	自由観覧
6	16	金	美濃加茂市	蜂屋小学校	小3年	84	展示解説・展示セルフガイド・里山オリ
6	10	金	愛知県(名古屋)	名古屋教育文化センター	幼児	37	自由観覧
6	17	土	可児市	障がい者サービス虹色デイズ	小学生・中学生	21	展示解説・施設説明・自由観覧
6	27	火	瑞穂市	岐阜県小中学校教育研究会小中学校英語部会	教員	91	施設利用
6	29	木	関市	岐阜県小中学校教育研究会養護教諭研究部会	教員	37	施設利用
7	7	金	関市	津保川中学校	中3年	32	開場式招待
7	12	火	愛知県(犬山)	犬山北小学校	小5年	99	展示解説・展示セルフガイド
7	13	木	岐阜市	岐阜警察委員会	一般	21	視察
7	15	土	愛知県(一宮)	平安幼稚園	年長	96	展示セルフガイド
7	20	木	岐阜市	県民文化局会議	一般	22	施設利用
7	22	土	関市	中部学院大学	大学生	84	自由観覧
7	23	日	愛知県(一宮)	一宮市博物館子どもバスツアー	小学生	13	展示解説・自由観覧
7	23	日	岐阜市	柳津高桑子ども会	小学生	38	自由観覧
7	25	火	関市	岐阜県百年公園 運営協働会議	一般	18	施設利用
7	27	木	関市	岐阜県博物館 団体利用説明会	教員	38	博物館利用計画立案
7	27	木	羽島市	放課後等デイサービス キッズボンド	一般	30	自由観覧
7	28	金	関市	岐阜県博物館 団体利用説明会	教員	32	博物館利用計画立案
7	29	土	関市	NPO法人 子援隊	小学生・中学生	34	展示解説・自由観覧・化石レプリカづくり
8	1	火	愛知県(名古屋)	中部地域づくり協会	小学生	47	自由観覧
8	2	水	笠松町	笠松町夏の親子教室	小学生	37	自由観覧
8	11	金	恵那市	岐阜県立恵那高等学校 科学部	高校生	19	自由観覧
8	17	木	関市	岐阜県小学校理科研究会	教員	119	施設利用
8	18	金	岐阜市	岐阜県中学校社会科研究会	教員	126	施設利用
8	18	金	関市	関市教育研究会 中学校理科部会	教員	10	施設利用・展示解説
8	18	金	各務原市	各務原市教育委員会 各務原市少年自然の家	小学生	41	展示解説・自由観覧・化石レプリカづくり
8	23	水	関市	岐阜県博物館 団体利用説明会	教員	29	博物館利用計画立案
8	24	木	美濃加茂市	放課後等デイサービス虹色キラリ	小学生・中学生	16	自由観覧
8	24	木	関市	岐阜県博物館 団体利用説明会	教員	24	博物館利用計画立案
9	5	火	大垣市	大垣市障がい者団体連絡協議会	一般	3	自由観覧
9	6	水	愛知県(春日井)	石尾台中学校	中2年	139	展示セルフガイド
9	6	水	大垣市	大垣市障がい者団体連絡協議会	一般	3	自由観覧
9	7	木	大垣市	大垣市障がい者団体連絡協議会	一般	3	自由観覧

月	日	曜	所在地	学校団体	対象	人数	活動内容
9	10	日	岐阜市	ボーイスカウト岐阜第8団ビーバー隊	小学生	25	展示解説・自由観覧・化石レプリカづくり
9	12	火	大垣市	大垣市障がい者団体連絡協議会	一般	4	自由観覧
9	13	水	大垣市	大垣市障がい者団体連絡協議会	一般	3	自由観覧
9	14	木	大垣市	大垣市障がい者団体連絡協議会	一般	4	自由観覧
9	15	金	大垣市	大垣市障がい者団体連絡協議会	一般	3	自由観覧
9	15	金	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール小学部	小学生	14	自由観覧
9	20	水	大垣市	大垣市障がい者団体連絡協議会	一般	3	自由観覧
9	20	水	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	年長	15	自由観覧
9	21	木	大垣市	大垣市障がい者団体連絡協議会	一般	3	自由観覧
9	22	金	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール小学部	小学生	14	自由観覧
9	27	火	関市	下有知小学校	小3年	72	展示セルフガイド
10	3	火	関市	武芸小学校	小1・2年	38	展示解説 秋みつけ 体験活動
10	3	火	恵那市	恵那北小学校	小5・6年	34	自由観覧
10	3	火	関市	田原小学校	小2年	54	秋みつけ 展示セルフガイド 体験活動
10	3	火	関市	寺尾小学校	小1・2年	10	体験活動 秋みつけ 展示解説
10	4	水	関市	富野小学校	小1・2年	35	展示セルフガイド 秋みつけ 体験活動
10	4	水	岐阜市	合渡小学校	小2年	48	自由見学 秋みつけ 展示解説
10	5	木	岐阜市	早田小学校	小1年	83	体験活動 展示セルフガイド
10	5	木	愛知県 (一宮市)	大徳小学校	小3年	61	展示セルフガイド
10	5	木	岐阜市	岐阜聖徳学園大学附属小学校	小1年	65	自由見学
10	5	木	岐阜市	長森東小学校	小5年	95	自由見学
10	5	木	岐阜市	岐阜市立市橋小学校	小4年	118	展示解説 展示セルフガイド
10	6	金	愛知県 (稲沢市)	稲沢東小学校	小3年	121	展示解説 展示セルフガイド
10	6	金	関市	武儀東小学校	小1・2・3年	39	展示解説 秋みつけ 体験活動
10	6	金	中津川市	福岡小学校	小4年	35	自由見学
10	6	金	関市	武儀西小学校	小1・2・3年	28	秋みつけ 体験活動
10	7	土	関市	岐阜県警察学校	初任科生	18	展示解説
10	9	月	岐阜市	三団体交流会	一般	20	展示解説
10	11	水	関市	上之保小学校	小1・2年	14	秋みつけ 展示セルフガイド 体験活動
10	11	水	関市	南ヶ丘小学校	小1・2年	36	展示解説 展示セルフガイド 秋みつけ
10	11	水	各務原市	各務小学校	小1年	37	展示解説 体験活動
10	11	水	大野町	大野東小学校	小3年	50	展示解説 自由見学
10	11	水	関市	関市観光協会 (中部学院大学)	一般・大学生	21	自由見学
10	11	水	大野町	大野北小学校	小1年	39	体験活動 展示セルフガイド 展示解説
10	11	水	飛騨市 (古川町)	郷土史教室	一般	40	自由見学
10	12	木	愛知県 (江南市)	古知野北小学校	小2年	92	展示解説 展示セルフガイド
10	12	木	愛知県 (岩倉市)	曾野小学校	小2年	106	展示解説 展示セルフガイド
10	12	木	岐阜市	中部学院大学・短期大学部附属幼稚園	年長	68	展示セルフガイド
10	12	木	関市	岐阜県博物館友の会	一般	15	施設利用 展示解説
10	13	金	岐阜市	長良東小学校	小1年	108	展示セルフガイド 体験活動 秋みつけ
10	13	金	関市	博愛小学校	小1・2年	75	展示解説 秋みつけ 展示セルフガイド
10	13	金	瑞穂市	西小学校	小1年	45	秋みつけ 体験活動
10	13	金	大垣市	小野小学校	小2年	161	展示セルフガイド 展示解説
10	13	金	中津川市	落合小学校	小3年	40	展示セルフガイド
10	17	火	可児市	今渡北小学校	小1年	157	展示解説 展示セルフガイド
10	17	火	笠松町	笠松小学校	小1年	44	秋みつけ 展示セルフガイド
10	18	水	関市	田原小学校	小1年	46	展示解説 展示セルフガイド 秋みつけ
10	18	水	関市	洞戸小学校	小1・2年	26	秋みつけ 展示解説 体験活動
10	18	水		あじさい水曜会	一般	32	自由見学
10	19	木	富加町	富加小学校	小1年	60	展示解説 展示セルフガイド 秋みつけ
10	19	木	岐南町	東小学校	小1年	119	展示解説 展示セルフガイド
10	19	木	関市	倉知小学校	小2年	72	展示解説 展示セルフガイド
10	19	木	愛知県 (一宮市)	大和西小学校	小4年	88	展示解説 展示セルフガイド 体験活動
10	20	金	岐阜市	網代小学校	小1・2年	26	展示解説 展示セルフガイド 秋みつけ
10	20	金	関市	富岡小学校	小1年	77	秋みつけ 展示セルフガイド
10	24	火	美濃市	中有知小学校	小1年	46	秋みつけ 展示解説 展示セルフガイド
10	25	水	岐阜市	岐阜県教育委員会(岐阜県総合教育センター)	教員	9	博物館活用講座
10	25	水	関市	旭ヶ丘小学校	小2年	51	展示セルフガイド 体験活動
10	25	水	中津川市	坂本小学校	小4年	149	展示セルフガイド
10	25	水	笠松町	下羽栗小学校	小1年	69	展示解説 展示セルフガイド 秋みつけ
10	26	木	愛知県 (江南市)	宮田小学校	小3年	110	展示セルフガイド
10	26	木	愛知県 (稲沢市)	清水小学校	小3年	48	展示解説 展示セルフガイド
10	26	木	関市	旭ヶ丘小学校	小1年	63	秋みつけ 体験活動 展示セルフガイド
10	26	木	笠松町	松枝小学校	小2年	110	秋みつけ 展示セルフガイド
10	27	金	岐阜市	岐阜県職員研修所	一般	64	岐阜県職員研修
10	27	金	可児市	東明小学校	小2年	47	展示解説 展示セルフガイド 体験活動
10	27	金	岐阜市	方県小学校	小1・2年	32	秋みつけ 展示セルフガイド 展示解説
10	31	火	岐阜市	岐阜県立希望ヶ丘子ども医療福祉センター	乳幼児・保護者	45	自由見学
10	31	火	海津市	東江小学校	小1・2年	27	展示解説 展示セルフガイド 秋みつけ
10	31	火	各務原市	中央小学校	小1年	85	秋みつけ 展示解説 展示セルフガイド
10	31	火	愛知県 (清洲市)	古城小学校	小3年	65	展示解説 展示セルフガイド 体験活動
10	31	火	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	年中	42	自由見学
10	31	火	岐阜市	東地区まちづくり協議会	一般	21	自由見学
11	1	水	関市	瀬尻小学校	小1年	86	秋みつけ 体験活動
11	1	水	可児市	旭小学校	小2年	74	展示セルフガイド 展示解説 秋みつけ
11	2	木	愛知県 (江南市)	草井小学校	小2年	58	展示解説 展示セルフガイド
11	2	木	関市	安桜小学校	小2年	87	秋みつけ 展示解説 展示セルフガイド
11	2	木	岐阜市	常磐保育園	年中	36	自由見学
11	2	木	関市	安桜保育園	年中・年長	47	自由見学
11	4	土	岐阜市	岐阜聖徳学園大学初等生活Ⅱ受講者	大2年	12	演習 (講義・見学・観察等)

月	日	曜	所在地	学校団体	対象	人数	活動内容
11	4	土	飛騨市	国府史学会	一般	11	自由見学
11	5	日	岐阜市	岐阜聖徳学園大学初等生活Ⅱ受講者	大2年	15	演習(講義・見学・観察等)
11	7	火	美濃市	藍見小学校	小2年	17	秋みつけ 体験活動 展示セルフガイド
11	7	火	揖斐郡	岐阜県立揖斐特別支援学校	小学生	4	自由見学
11	8	水	本巣市	土貴野小学校	小1年	25	展示解説 展示セルフガイド
11	8	水	愛知県(北名古屋市)	西春小学校	小3年	100	展示セルフガイド
11	8	水	岐阜市	岐阜県立希望ヶ丘子ども医療福祉センター	幼児・保護者	40	自由見学
11	9	木	関市	関市ふれあい教室	小学生	7	体験活動 自由見学
11	9	木	関市	岐阜県博物館友の会七草委員会	一般	4	施設利用
11	10	金	関市	富岡小学校	小2年	107	秋みつけ 展示セルフガイド
11	14	火	瑞穂市	岐阜県小中学校教育研究会小中学校英語部会	教員	81	施設利用
11	15	水	海津市	海西小学校	小4年	19	展示セルフガイド
11	15	水	恵那市	恵那先史文化研究会	一般	28	自由見学
11	16	木	岐阜市	則武小学校	小1年	105	展示解説 展示セルフガイド
11	17	金	関市	板取小学校	小1・2年	12	体験活動 自由見学
11	17	金	岐阜市	日野小学校	小1年	88	展示解説 展示セルフガイド 秋みつけ
11	22	水	岐阜市	Clematis 幼稚舎	年長	50	体験活動 自由見学
11	22	水	岐阜市	徹明さくら小学校	小5年	58	展示解説 展示セルフガイド
11	22	水	関市	岐阜県百年公園運営協議会	一般	18	施設利用
11	24	金	岐阜市	鷺山小学校	小1年	91	展示解説 体験活動 展示セルフガイド
11	24	金	美濃市	牧谷小学校	小2年	23	展示解説 展示セルフガイド 体験活動
11	28	火	笠松町	笠松保育園	年長	21	自由見学
11	30	木	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	年中	41	体験活動
11	30	木	関市	岐阜県博物館協会	一般	11	施設利用
12	7	木	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	年中	45	展示解説 自由見学
12	8	金	下呂市	金山小学校	小4年	21	展示解説 自由見学
12	8	金	本巣市	土貴野小学校	小4年	31	展示セルフガイド 展示解説
12	15	金	垂井町	垂井小学校	小4年	50	展示解説
1	10	水	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール小学部	小学生	17	学芸員の話
1	12	金	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール小学部	小学生	15	図書室利用
1	16	火	関市	瀬尻小学校	小3年	92	展示解説 展示セルフガイド
1	20	土	岐阜市	岐阜県めぐみの森づくり推進課	小・中学生	50	施設利用(岐阜県みどりの少年団活動発表大会)
1	24	水	関市	富野小学校	小3年	20	展示解説 展示セルフガイド ギフチョウの話
1	24	水	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール小学部	小1年	18	自由見学
1	25	木	関市	関中央ロータリークラブ	一般	24	展示解説 自由見学
1	30	火	関市	金竜小学校	小3年	125	展示解説・昔のくらし体験
2	1	木	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール小学部	小学生	5	調べ学習
2	9	金	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール小学部	小学生	17	学習成果発表会準備
2	9	金	関市	中部学院大学・中部学院大学短期大学附属桐が丘幼稚園	年長	70	自由観覧
2	10	土	岐阜市	サニーサイドインターナショナルスクール	観・小・中・高	103	学習成果発表会
2	12	月	美濃加茂市	デイサービスてくてく	小中学生	15	自由観覧
2	15	木	岐阜市	町村文化行政主管課長会議	一般	26	施設利用
2	16	金	関市	虹ヶ丘幼稚園	年長	85	展示解説・映像鑑賞・展示セルフガイド
2	20	火	岐阜市	岐阜県小中学校教育研究会小学校社会科部会	教員	59	施設利用
2	27	火	岐阜市	岐阜県教育委員会体育健康課	教員	106	県保健担当部会会議
2	27	火	美濃加茂市	太田第二保育園	年中・年長	58	展示解説・展示セルフガイド
3	1	木	関市	洞戸保育園・板取めばえ保育園	年少～年長	76	自由観覧
3	2	金	美濃加茂市	山之上保育園	年少～年長	50	展示解説・展示セルフガイド(雨天時のみ利用)
3	6	火	美濃加茂市	古井第二保育園	年長	36	展示解説・自由観覧
3	6	火	関市	中部学院大学・中部学院大学短期大学附属桐が丘幼稚園	年中	63	展示解説・自由観覧
3	6	火	美濃加茂市	太田第一保育園	年中・年長	41	展示解説・自然セルフガイド
3	7	水	関市	小金田保育園	年少～年長	135	自由観覧
3	9	金	美濃加茂市	加茂野保育園	年長	55	展示解説・展示セルフガイド
3	9	金	美濃加茂市	蜂屋保育園	年中・年長	58	展示解説・自由観覧

	団体数	人数
学校団体(幼保含む)	124	8,069
学校以外の団体	74	2,575
合計(団体数・人数)	198	10,644

⑥ 出前授業・講師派遣

出前授業の実施回数は9回(そのうち小中学校8回)であった。また、講師として招聘されたのは11回あった。招聘先としては各種団体が中心で、職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的に活用されていた。

<出前授業>

期 日	用 務 先	対象児童等	人数	会 場	授業内容
平成29年5月12日	美濃市立藍見小学校	小4	16	美濃市立藍見小学校	ウシモツゴ勉強会
平成29年5月12日	美濃市立大矢田小学校	小3	15	美濃市立大矢田小学校	ウシモツゴ勉強会
平成29年6月23日	郡上市立大和第一北小学校	小5・小6	12	郡上市立大和第一北小学校	カワゲラウォッチング
平成29年7月11日	郡上市立大和第一北小学校	小4	12	郡上市立大和第一北小学校	カワゲラウォッチング
平成29年7月27日	揖斐川町歴史民俗資料館	小学生	30	揖斐川町歴史民俗資料館	まが玉をつくろう
平成29年7月28日	揖斐川町歴史民俗資料館	小学生	30	揖斐川町歴史民俗資料館	まが玉をつくろう
平成29年8月6日	芥見自治会連合会地頭方支部	<small>地域住民 (小学生～高齢者)</small>	30	地頭方支部 公民館	化石レプリカづくり
平成29年10月7日	関市立下有知小学校	小1～小6・保護者	120	関市立下有知小学校	化石レプリカづくり・ポスターでエコバックづくり
平成29年10月28日	岐阜市立藍川北中学校	中1～中3	20	岐阜市立藍川北中学校	岐阜の地質について
平成29年10月28日	美濃加茂市立蜂屋小学校	小1～小6	507	美濃加茂市立蜂屋小学校	科学の講演
平成29年11月11日	各務原市立鶴沼第一小学校	小4～小6	20	各務原市立鶴沼第一小学校	各務原の地質について
			合計	812	

<講師派遣>

期 日	依 頼 元	対象児童等	人数	授 業 内 容
平成29年5月12日	岐阜県教育委員会	教職員	7	博物館活用講座
平成29年5月25日	関市立旭ヶ丘中学校	中学生	137	総合的な学習「岐阜県における伝統文化・産業について」
平成29年6月17日	加茂郡七宗町	一般	38	ほたる観察会
平成29年7月27日	岐阜県教育委員会	教職員	120	自然観察の在り方について
平成29年7月31日	高山市こども移動科学館	小5～中3	20	化石の話
平成29年7月31日	白川郷自然共生フォーラム	小4～小6	23	岐阜と恐竜について
平成29年8月11日	瑞浪市化石博物館	一般	25	夏の化石教室
平成29年8月26日	各務原市教育委員会	小5～小6	40	各務原の地質について
平成29年9月29日	岐阜県環境生活部県民文化局文化伝承課・下呂市教育委員会事務局教育総務課	一般	5	文化財調査
平成29年10月14日	長良川大学連携文化講座	一般	30	鳥の博物学
平成29年10月25日	岐阜県教育委員会	教職員	10	博物館活用講座
平成30年2月8日	山県市立いわ桜小学校PTA	児童・保護者	70	まが玉づくり体験
平成30年3月17日	正家廃寺保存会ほか	一般	120	歴史講演会「壬申の乱と美濃」
			合計	645

⑦ 資料の貸し出し

	機 関 名	資 料 名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数	
人 文	個人	刀 銘 濃州関住兼辰作/天正七年己卯八月吉日 (プリント)	平成 29 年 4 月 1 日	平成 29 年 4 月 30 日	8	
	済法寺	木造十一面観音立像 (レプリカ) 他	平成 29 年 5 月 1 日	平成 30 年 4 月 30 日	5	
	岐阜県環境生活部県民文化局文化創造課	歌川広重筆「木曾海道六拾九次之内 落合」(画像)	平成 29 年 8 月 24 日	平成 29 年 8 月 26 日	1	
	岐阜県立岐阜高等学校	生首台 (奇術)	平成 29 年 8 月 25 日	平成 29 年 9 月 3 日	1	
	浄土寺	木造聖観音立像 (ポジ)	平成 29 年 9 月 1 日	平成 29 年 9 月 30 日	1	
	岐阜県環境生活部県民文化局文化創造課	歌川広重筆「木曾海道六拾九次之内 落合」(画像)	平成 29 年 9 月 14 日	平成 29 年 9 月 30 日	1	
	茨木市立文化財資料館	上呂 2 号銅鐸 (レプリカ)	平成 29 年 9 月 20 日	平成 29 年 12 月 8 日	1	
	滋賀県立安土城考古博物館	銅鐸	平成 29 年 10 月 3 日	平成 29 年 12 月 12 日	1	
	産経デジタル	楊斎延一・延重筆「真書太閤記 本能寺焼討之図」(写真)	平成 29 年 11 月 20 日	平成 29 年 11 月 26 日	1	
	高山陣屋管理事務所	トビ (川狩り用) 他	平成 30 年 1 月 12 日	平成 30 年 3 月 31 日	15	
	MIHO MUSEUM	根尾春日神社の能面	平成 30 年 2 月 16 日	平成 30 年 6 月 14 日	3	
		日坂の面			17	
		大矢田白山神社の古面			2	
	関市経済部観光交流課	刀 銘 濃州赤坂住兼元 (画像) 他	平成 30 年 3 月 14 日	平成 30 年 6 月 24 日	3	
自 然	エコミュージアム関ヶ原	植物標本	平成 29 年 3 月 24 日	平成 29 年 6 月 21 日	8	
	岐阜市長森南小学校	ほ乳類剥製標本	平成 29 年 4 月 27 日	平成 29 年 5 月 11 日	15	
	NPO 法人生態教育センター木曾三川事務所	鳥類標本	平成 29 年 4 月 28 日	平成 29 年 5 月 7 日	12	
	北杜市オオムラサキセンター	オオムラサキ	平成 29 年 4 月 29 日	平成 29 年 9 月 5 日	1	
	岐阜聖徳学園大学附属小学校	脊椎動物標本	平成 29 年 5 月 7 日	平成 29 年 5 月 20 日	12	
	百科編集部	カブトガニ標本	平成 29 年 5 月 13 日	平成 29 年 5 月 16 日	4	
	世界淡水魚水族館	マダラロリカリア標本	平成 29 年 6 月 15 日	平成 29 年 12 月 15 日	1	
	エコミュージアム関ヶ原	昆虫標本	平成 29 年 6 月 18 日	平成 29 年 9 月 16 日	9	
	岐阜市立長良東小学校	昆虫標本	平成 29 年 6 月 25 日	平成 29 年 7 月 8 日	7	
	丹波市	コンコラブトル骨格模型	平成 29 年 7 月 13 日	平成 29 年 9 月 8 日	1	
	可児市立蘇南中学校	化石レプリカ制作キット	平成 29 年 7 月 23 日	平成 29 年 7 月 29 日	80	
	高山市立東小学校	化石レプリカ制作キット	平成 29 年 7 月 30 日	平成 29 年 8 月 9 日	20	
	自治会芥民連合会地頭方支部	化石レプリカ制作キット	平成 29 年 8 月 6 日	平成 29 年 8 月 6 日	40	
	岐阜県立岐山高等学校	化石レプリカ制作キット	平成 29 年 8 月 29 日	平成 29 年 9 月 10 日	20	
	エコミュージアム関ヶ原	鳥類標本	平成 29 年 9 月 1 日	平成 29 年 11 月 29 日	6	
	関市立小金田中学校	動物の頭骨標本	平成 29 年 9 月 5 日	平成 29 年 9 月 21 日	12	
	各務原市教育センター	化石レプリカ制作キット	平成 29 年 9 月 7 日	平成 29 年 9 月 12 日	2	
	美濃加茂市立東中学校	動物の頭骨標本	平成 29 年 9 月 9 日	平成 29 年 10 月 1 日	9	
	瑞穂市立穂積北中学校	動物の頭骨標本	平成 29 年 9 月 15 日	平成 29 年 9 月 30 日	14	
	高山市立花里小学校	化石レプリカ制作キット	平成 29 年 9 月 15 日	平成 29 年 9 月 22 日	30	
	大垣市立江並中学校	動物の頭骨標本	平成 29 年 10 月 1 日	平成 29 年 10 月 14 日	19	
	岐阜市立藍川北中学校	動物の頭骨標本	平成 29 年 10 月 7 日	平成 29 年 10 月 14 日	14	
	瑞穂市立穂積北中学校	動物骨格標本	平成 29 年 10 月 13 日	平成 29 年 11 月 5 日	15	
	関市立板取中学校	化石レプリカ制作キット	平成 29 年 10 月 17 日	平成 29 年 10 月 20 日	22	
	岐阜アートフォーラム実行委員会	動物の頭骨標本	平成 29 年 10 月 25 日	平成 29 年 11 月 9 日	2	
	各務原市教育センター	化石レプリカ制作キット	平成 29 年 11 月 10 日	平成 29 年 11 月 15 日	10	
	世界淡水魚水族館	動物標本	平成 29 年 11 月 14 日	平成 30 年 4 月 20 日	3	
	大垣市立中川小学校	化石レプリカ制作キット	平成 29 年 11 月 26 日	平成 29 年 12 月 15 日	40	
	岐阜県立岐阜農林高等学校	鳥類標本	平成 29 年 12 月 5 日	平成 29 年 12 月 17 日	11	
	郡上市立大和第一北小学校	動物標本	平成 29 年 12 月 5 日	平成 29 年 12 月 10 日	12	
	岐南町立見師匠学校	化石レプリカ制作キット	平成 30 年 1 月 21 日	平成 30 年 1 月 28 日	25	
	岐阜県立飛騨高山高等学校	化石レプリカ制作キット	平成 30 年 2 月 2 日	平成 30 年 2 月 13 日	23	
	郡上市立大和第一北小学校	動物標本	平成 30 年 2 月 2 日	平成 30 年 2 月 10 日	11	
	大垣市立小野小学校	化石レプリカ制作キット	平成 30 年 2 月 17 日	平成 30 年 2 月 25 日	55	
	一宮市立黒田小学校	化石レプリカ制作キット	平成 30 年 2 月 25 日	平成 30 年 3 月 4 日	15	
	島根県立古代出雲歴史博物館	ナウマンゾウ全身骨格標本、ナウマンゾウ模型	平成 30 年 2 月 26 日	平成 30 年 5 月 25 日	2	
	その他	稲沢市立六輪小学校	洗濯板	平成 30 年 3 月 12 日	平成 30 年 3 月 16 日	6
	合 計					645

⑧ 刊行物

名 称	発行年月日	判、頁	部 数
岐阜県博物館報第 40 号	29. 4. 1	A4 41頁	800
岐阜県博物館調査研究報告第 38 号	30. 3. 31	A4 70頁	600
平成 29 年度 展示・催し物年間スケジュール	30. 3. 31	A4 3ツ折	40,000
【特別展・企画展刊行物】			
関ヶ原 ～天下分け目の合戦と美濃～	ポスター	29. 4. 22 B2	1,400
関ヶ原 ～天下分け目の合戦と美濃～	チラシ	29. 4. 22 A4 両面	32,000
関ヶ原 ～天下分け目の合戦と美濃～	図録	29. 4. 22 A4 68頁	600
生きている大地 ～地質図が語るぎふの大地～	ポスター	29. 7. 7 B2	1,800
生きている大地 ～地質図が語るぎふの大地～	チラシ	29. 7. 7 A4 両面	110,000
生きている大地 ～地質図が語るぎふの大地～	図録	29. 7. 7 A4 64頁	600
東西激突！ The 関ヶ原 ～関ヶ原合戦と岐阜城合戦～	ポスター	29. 7. 21 B2	700
東西激突！ The 関ヶ原 ～関ヶ原合戦と岐阜城合戦～	チラシ	29. 7. 21 A4 両面	14,000
見つめる目 写真家の見た飛騨美濃 ～細江光洋の飛騨・増山たづ子の徳山・後藤英夫の円空～	ポスター	29. 7. 21 B2	1,400
見つめる目 写真家の見た飛騨美濃 ～細江光洋の飛騨・増山たづ子の徳山・後藤英夫の円空～	チラシ	29. 7. 21 A4 両面	26,000
壬申の乱の時代—美濃国・飛騨国の誕生に迫る	ポスター	29. 9. 15 B2	1,800
壬申の乱の時代—美濃国・飛騨国の誕生に迫る	チラシ	29. 9. 15 A4 両面	110,000
壬申の乱の時代—美濃国・飛騨国の誕生に迫る	図録	29. 9. 15 A4 76頁	600
命輝く清流長良川 ～清流をともに移りゆく植物～	ポスター	29. 11. 25 B2	1,600
命輝く清流長良川 ～清流をともに移りゆく植物～	チラシ	29. 11. 25 A4 両面	34,000
【マイ・ミュージアム刊行物】			
マイ・コレクション 第 168 号	チラシ	29. 4. 22 A4 両面	1,500
マイ・コレクション 第 169 号	チラシ	29. 7. 1 A4 両面	1,500
マイ・コレクション 第 170 号	チラシ	29. 9. 9 A4 両面	1,500
マイ・コレクション 第 171 号	チラシ	29. 11. 11 A4 両面	1,500
U-18 ミュージアム 第 1 回	チラシ	30. 1. 13 A4	200
マイ・コレクション 第 172 号	チラシ	30. 2. 3 A4 両面	1,500
マイミュージアムギャラリー	ポスター	30. 3. 31 B2	1,600
マイミュージアムギャラリー	チラシ	30. 3. 31 A4 両面	14,000

⑨ 図書館資料（平成 29 年 3 月末現在）

	図書館資料数	備 考
一 般 資 料	21,914	含 刀剣文庫
郷 土 資 料	5,790	
児 童 書	1,045	
博 物 館 資 料	5,512	含 当館資料、棚橋文庫、熊田文庫
合 計	34,261	

(2) 広報活動

入館者及び館外での博物館利用者の増加を目指して、広報活動の充実を図った。

① 館外掲示の活用

博物館入口前、百年公園北口及び南口の掲示物ケース内に直近及び2か月中に開催予定の催し物情報を示し、百年公園来園者に対する当館への誘導を行った。また、特別展・企画展開催中であることを、公園北口から館入口までの各掲示板にポスターを用いてアピールした。

② 館内掲示の活用

館入口から本館インフォメーションまでの入館者の移動経路上に、過去の特別展・企画展のポスターアーカイブ、人文・自然分野の特集、館内見どころ案内などを掲示して、博物館の活動や所蔵資料等に対する入館者の興味関心の高揚に努めた。

③ 情報誌の積極的な活用

県内及び近隣の県で発行されている情報誌や、全国紙のウェブサイト上の読者プレゼントコーナーに招待券を提供した。展覧会の内容に興味関心がある方々が自身で応募されているので、提供した招待券の多くは活用されている。

④ 情報配信メールの活用

情報配信リストに登録された方に、催し物や講演会、各種講座の開催情報を提供した。各イベントの面白さや意義などを伝えることで、参加者の増加につながった。

⑤ SNS の開設とホームページの改修

4月1日から公式ツイッターを、5月1日から公式 Facebook ページを開設した。Facebook ページの開設により、これまでホームページにあったウェブニュースは、Facebook ページに移行した。ツイッターは、刀剣や古生物関係のツイートに多くの「リツイート」や「いいね」があり、新しい広報ツールとして定着している。

また、SNS の開設にあわせて、ホームページにツイッターと Facebook ページを組み込み、ホームページと SNS の連携を図るように改修した。その他トップページのお知らせ欄をポップアップ表示とし、ミニ企画展情報や学芸員による展覧会ごとのワンポイント解説動画を掲載するなど充実を図った。

(3) 博物館実習

7月25日(水)から7月29日(日)までの5日間、高知大学(2名)、愛知学院大学(1名)、東京農業大学(1名)の3大学から4名の学生を受け入れた。分野別の受け入れ状況は、人文3名、自然1名であった。実習内容は下記の通りである。

<実習内容>

第1日目	実習開講式 館長講話 岐阜県博物館の概要・博物館学芸員の仕事 人文展示室観覧 人文係の仕事・人文資料の概要 教育普及係の仕事・館内施設見学 マイミュージアムギャラリー係の仕事 デジタルアーカイブの概要
------	---

第2日目	特別展観覧・自然展示室観覧 自然係の仕事・自然資料の概要 分野別実習
第3日目	分野別実習
第4日目	分野別実習
第5日目	分野別実習

(4) 教員のための博物館の日

平成20年度から国立科学博物館で始まった「教員のための博物館の日」を、当館でも開催した。当館での開催は、2年目となる。開催時期は、昨年度と同じく8月前半とし、2日間開催した。この2日間の教職員の入館料は無料とした。

実施内容は、昨年度と大幅に変えた。各展示解説、ものづくり体験、シアター上映などの時間割をあらかじめ組んでおき、参加者個々が好きなプログラムを選択して参加できる方法をとった。また、ホームページでの開催告知、県内の高等学校・特別支援学校へのメールでの案内、小・中学校への案内チラシの配布などを行い周知にも努めた。その結果、2日間の参加者数は合計112名となり、前年度の287%に増加した。

(開催日・参加人数)

	開催日・時間	参加人数
1日目	8月3日(木) 10:00～16:00	81名
2日目	8月9日(水) 10:00～16:00	31名

(実施内容)

特別展解説:「生きている大地」 常設展解説:「人文展示室」「自然展示室1」「自然展示室2」 解説員解説:「恐竜」「鶴飼」「合掌造り」「輪中」 マイミュージアムギャラリー解説:「化石・鉱物展」 教育普及活動紹介:授業で活用できる資料や講座等紹介 わくわく体験:「化石レプリカづくり」(1回無料)他
--

(5) 三重県総合博物館(MieMu)との交流事業

今年度も、互いに職員が出向いて講演会や体験ワークショップを行った。

(実施内容) 平成29年度

岐阜県博物館【三重県総合博物館(MieMu)からの派遣】
・講演会(9/3)「カモシカとそのなかまたち」 講師:田村 香里(三重県総合博物館学芸員)
・講演会(10/7)「壬申の乱と古代の伊勢国、そして斎宮」 講師:天野 秀昭(三重県総合博物館学芸員)
・体験ワークショップ(11/3)「昆虫切り紙」工作体験 講師:三重県総合博物館ミュージアム・パートナー
三重県総合博物館(MieMu)【岐阜県博物館からの派遣】
・講演会(11/4)「能の幽霊考察～世阿弥の「幽霊」創造について～」 講師:南本 有紀(岐阜県博物館学芸員)
・講演会(9/17)「えっ!違うの?思い込みの植物たち～生物多様性と保全～」※台風接近により中止 講師:可児 美紀(岐阜県博物館学芸員)
・体験ワークショップ(11/23)「どんぐり標本箱づくり」 講師:岐阜県博物館教育普及係

9 利用状況

(1) 利用者数

平成 29 年度は、総利用者数は 133,219 人(H28:117,908 人)で、内訳は館内への入館者が 49,425 人(H28:56,140 人)、移動展が 44,989 人、移動博物館が 33,122 人等であった。本館への入館者数は 9%ダウン、総利用者数が 13%アップであった。

また、団体入館者は、198 団体 10,644 人で、博物館入館者総数の 22%を占め、10 月が一番多く 62 団体であった。

月	博物館入館者数	一般	大学	高校生以下	一日平均	利用者計※	一日平均
4	3,379	2,142	149	1,088	130	3,388	130
5	6,971	3,722	193	3,056	268	7,251	279
6	4,181	3,088	48	1,045	161	4,181	161
7	3,373	2,065	143	1,165	130	12,079	465
8	4,734	2,959	46	1,729	175	29,987	1,111
9	3,930	2,786	21	1,123	151	15,493	596
10	6,921	2,985	72	3,864	266	7,407	285
11	5,683	3,439	45	2,199	219	6,261	241
12	1,680	1,108	18	554	70	1,901	79
1	2,202	1,301	57	844	92	2,313	96
2	2,747	1,913	18	816	114	12,605	525
3	3,624	2,107	22	1,495	134	30,353	1,124
計	49,425	29,615	832	18,978	160	133,219	433

特別展名	期間	高校生以下	大学生	一般	計
生きている大地 ～地質図が語るぎふの大地～	7/7～9/3 (51日間)	4,759	193	2,961	7,913
壬申の乱の時代 —美濃国・飛騨国の誕生に迫る—	9/15～11/19 (57日間)	6,423	124	6,408	12,955

(2) 来館者アンケート

来館者の実態や意識を把握して今後の博物館運営に生かすために、アンケート調査とその結果を考察している。このアンケートは、館内数か所に設置した回収箱付近で、来館者が自発的に記入して投函する方法で行っているものである。平成 29 年度の回収数は前年度より倍増しており、来館者の当館に対する関心や期待度が高かったものと考えられる。

来館目的では、図 1 に示すように、「特別展・企画展」「常設展」の 2 項目が多く、この傾向は例年と変わらなかった。「催し物」には講演会、講座、けんぱく教室が含まれるが、これも例年と変わらない割合だった。昨年度の結果と比較すると、「マイミュージアムギャラリー (MMG)」の割合が、昨年度の 2%から大きく増加した。多様なテーマの展示が企画され、多くの来館者の関心を集めたと考えられる。また、「その他」の中には「百年公園に来たので」「博物館に興味を持ったので」が含まれ、それぞれ 23%、11%と割合が高い。これは、百年公園内での掲示や各種メディアへの情報提供、民間施設など館外でのイベント開催・出展などによる広報活動が功を奏したものと考えられる。

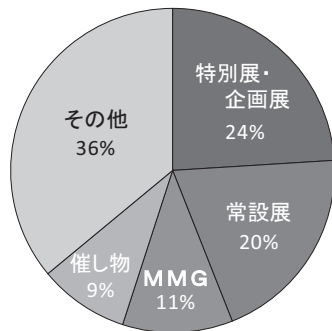


図 1 来館目的 (複数選択可)
n=222、H29 年 4 月～H30 年 3 月)

表 1 来館者の満足度 (選択式 n=190、H.29 年 4 月～H.30 年 3 月)

※選択肢は「大変良い」「まあ良い」「あまり良くない」「良くない」の 4 つ。このうち前 2 者、後 2 者をそれぞれ合わせた割合を、満足度、不満足度として示す。満足度の列の () 内の数値は、無回答分を除いて算出した満足度を表す。

内容	満足度	不満足度	無回答
特別展・企画展	76 (92)	7	17
常設展	92 (94)	5	3
MMG	70 (92)	6	24
展示解説	76 (93)	6	18
催し物	67 (94)	4	29

来館者の満足度については、表 1 に示すように、いずれも 92%以上と高い。特別展・企画展もさることながら、常設展の良さにも目を向けていただいていることがわかる。常設展を活用した子ども用の展示ワークシートが家族連れの来館者を中心に楽しまれているほか、ナイトミュージアムでの博物館探検シートなども好評であった。

無回答の割合が 20%前後あるのは、回答者の来館日にその内容が開催されていなかったことその他、ご覧いただけなかったことも考えられる。各内容の魅力を館内外でさらに広報していくことが今後の課題である。

記述式による回答には、建物や展示物の老朽化の指摘や交通の便、ショップの営業やカフェの併設などハード面に関する要望の一方で、より子どもが楽しめるプログラムや体験型イベントの増設の要望もあった。館内外にある魅力的な資源 (物的、人的、環境的など) の活用など、ソフト面におけるさらなる工夫改善・充実に図っていく。

10 博物館関係団体

(1) 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、博物館事業の普及を図るとともに、会員相互の教養を高め、親睦を深めることを目的とする会である。そのために、博物館と密接に連携を取り、博物館の事業や活動をサポートしている。

平成 29 年度の一般会員数は 242 名、後援会員は 6 団体である。会員数は昨年より少しだけ増加した。これは、百年公園駐車場が無料になったことと特展の内容のよさに起因している。一方で、継続会員の高齢化は進んでおり、退会者が多いのも現実である。

若い人たちをより惹きつけるような会になるよう、博物館と一層の連携を図り、生涯学習に繋がる魅力的な活動を推進していくことが課題である。

平成 29 年度の主な事業、行事は次の通りである。

① 会議

春季理事会・総会 5月11日(木)
 秋季理事会 10月12日(木)
 会長・副会長会議 3月10日(土)

② 各種委員会

会報委員会 4月20日(金)
 七草委員会 11月9日(木)、1月6日(土)

③ 広報誌の発行

「友の会報」は 119 号(6月)、120 号(10月)121 号(2月)の年 3 回発行した。各誌 A 4 判 6 頁。121 号は 270 部、他は各 300 部発行。

④ 図録の刊行と在庫図録の販売

特別展に合わせ、「関ヶ原」「生きていた大地」「壬申の乱の時代」の 3 種類の図録を刊行した。「壬申の乱の時代」は県外からの電話注文も多く好評だった。在庫図録の販売は、館内ショップでの販売と以下の 3 つの外部施設での委託販売が中心である。「下呂温泉博物館」、「東京国立博物館」、「国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市）」。

また、刊行後 10 年を経過した図録のうち展示に関係する一部の図録については、価格を値下げし販売した。

⑤ 博物館との共催事業の実施

・特別行事

「七草がゆを食べよう（1 月 7 日）」は好天にも恵まれ 263 人も来客があった。友の会員の他、サポーター、ボランティアの方々の協力もあって、おいしい七草がゆを来客者に提供することができた。館内では、正月遊びの遊具を楽しむことも出来、大変好評であった。

・わくわく体験

児童・生徒を対象とした化石クリーニング体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり、どんぐりの標本箱づくり等、サポーターの協力も得て、原則月数回、日曜日に実施され、延べ 2,398 人の参加があった。

・けんぱく教室

「和とじを使って昔のノートをつくろう」「恐竜を造ろう」「恐竜を描こう」「まゆ玉でかわいい動物たちをつくろう」など

⑥ 友の会員の入館料助成

今年度の会員の博物館入館者は、常設展 326 人、特別展期間 244 人の計 570 人で、その入館料（団体料金相当）を友の会で助成した。

⑦ 探訪の旅

友の会では、会員相互の親睦を図るとともに、見聞を広め、教養を高めるために、海外への探訪並びに国内探訪を実施している。昭和 61 年以降今日まで、国内探訪として、歴史的な名所、旧蹟を訪ねる旅行を 79 回実施した。平成 4 年からは、更に海外探訪の旅を加え、世界遺産見学を中心に、これまでに 13 回に及ぶ訪問国の文化と歴史を研修する旅を進めてきた。この方向を大切に、平成 29 年度は、国内探訪を海外探訪に切り換えた。研修と見学を柱とした友の会探訪の旅の特色は次の通りである。

- ・探訪の目的を明確にして、手作りの日程を策定する。
- ・友の会独自の解説書を作成し、参加者全員に配布して、現地での研修、見学に活用している。

平成 29 年度の探訪の旅は以下の通りである。

- ・「近江商人の水郷めぐり & 安土城、学びの旅」
6月4日(日) 参加者 39 名
- ・「ベトナム・ハノイ・ハロン湾、4 つの世界遺産巡りの旅」
12月4日(月)～8日(金) 参加者 16 名

(2) 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和 41 年に設立された。

平成 29 年度は、これまでの専門委員会を改組し、ミュージアムレスキューなど社会的な課題への対応や研究部門の充実を図るため、新たに 3 つの専門部会（もの・ひと・こと）を設けるとともに、地域に根ざした活動を独自に行うことを目的とし、新たに 5 つの地域ブロック部会（岐阜・西濃・中濃・東濃・飛騨）を設けた。

平成 30 年 3 月現在、会員館は 123 館、個人会員は 9 名。主な役員は次の通りである。

会長…若宮多門、副会長…名和哲夫、日比野克彦、中島守、高橋秀治、中井剛彦、事務局は岐阜県博物館内にある。

<主な事業>

4/11	協会監査
5/28	第 1 回理事会、岐阜県博物館協会通常総会 県民文化講演会
7/26	東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部理事会・総会・講演会（静岡県）
10/31	機関紙『岐阜の博物館』第 181 号発行
11/7	第 42 回東海三県博物館協会研究交流会（愛知県）
11/29～	第 65 回全国博物館大会（大分県）
12/1	
11/30	第 1 回企画委員会
12/5	中濃ブロック部会施設見学会
12/11	岐阜ブロック部会地域自然学習会
1/26	中濃ブロック部会公開講座
1/29	岐阜ブロック部会施設見学会
1/30	第 2 回企画委員会
1/31	第 93 回会員研修会
3/3～3/4	中濃ブロック部会施設イベント巡り
3/6	もの部会公開講演会 第 2 回理事会
3/9	第 94 回会員研修会
3/31	機関紙『岐阜の博物館』第 182 号発行
H28. 7. 16～	ミュージアムスタンプラリー
H29. 8. 31	

IV 利用案内 (平成30年度)

- 開館時間 4月～10月 9時～16時30分 (入館は16時まで)
11月～3月 9時30分～16時30分 (同上)

- 入館料

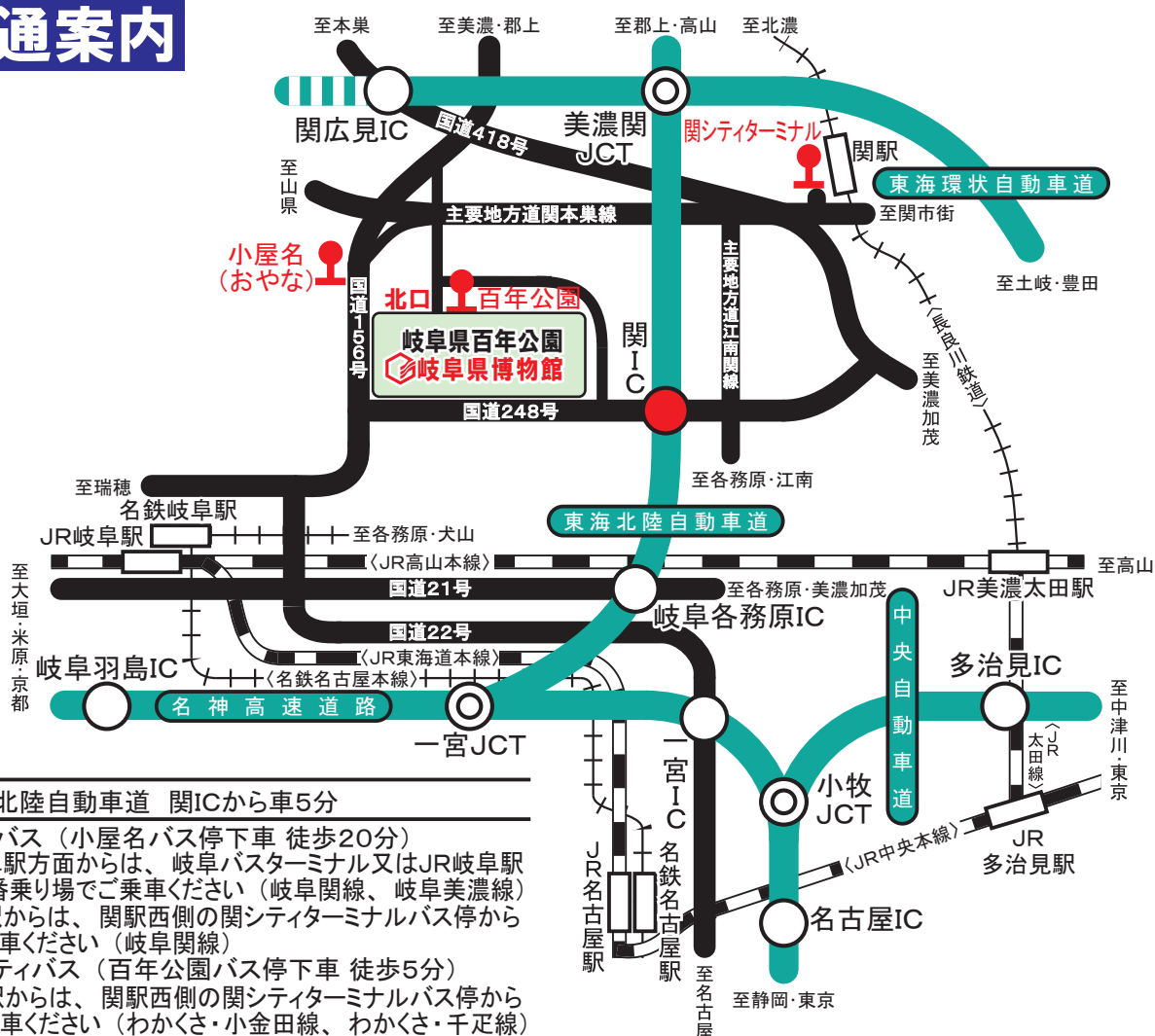
区分	本館		マイ・ミュージアム
	通常	特別展開催中	
一般	330(270)円	600(520)円	無料
大学生	110(50)円	300(200)円	
小中高生	無料	無料	

() は20名以上の団体

- 休館日
 - ・月曜日 (月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日)
 - ・年末年始 (12月29日～翌年1月3日)

- 駐車場 岐阜県百年公園駐車場

交通案内



- ・東海北陸自動車道 関ICから車5分
- ・岐阜バス (小屋名バス停下車 徒歩20分)
※岐阜駅方面からは、岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください (岐阜関線、岐阜美濃線)
※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください (岐阜関線)
- ・関シティバス (百年公園バス停下車 徒歩5分)
※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください (わかくさ・小金田線、わかくさ・千疋線)

お車でのお越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場(無料)をご利用ください。北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、百年公園管理事務所でお申し出ください。

清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知

清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創

ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます

伝

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

岐阜県博物館報 第41号

平成30年(2018)4月1日 発行

編集・発行 岐阜県博物館
関市小屋名1989(岐阜県百年公園内)
TEL 〈0575〉28-3111

印 刷 株式会社 大一プリント